

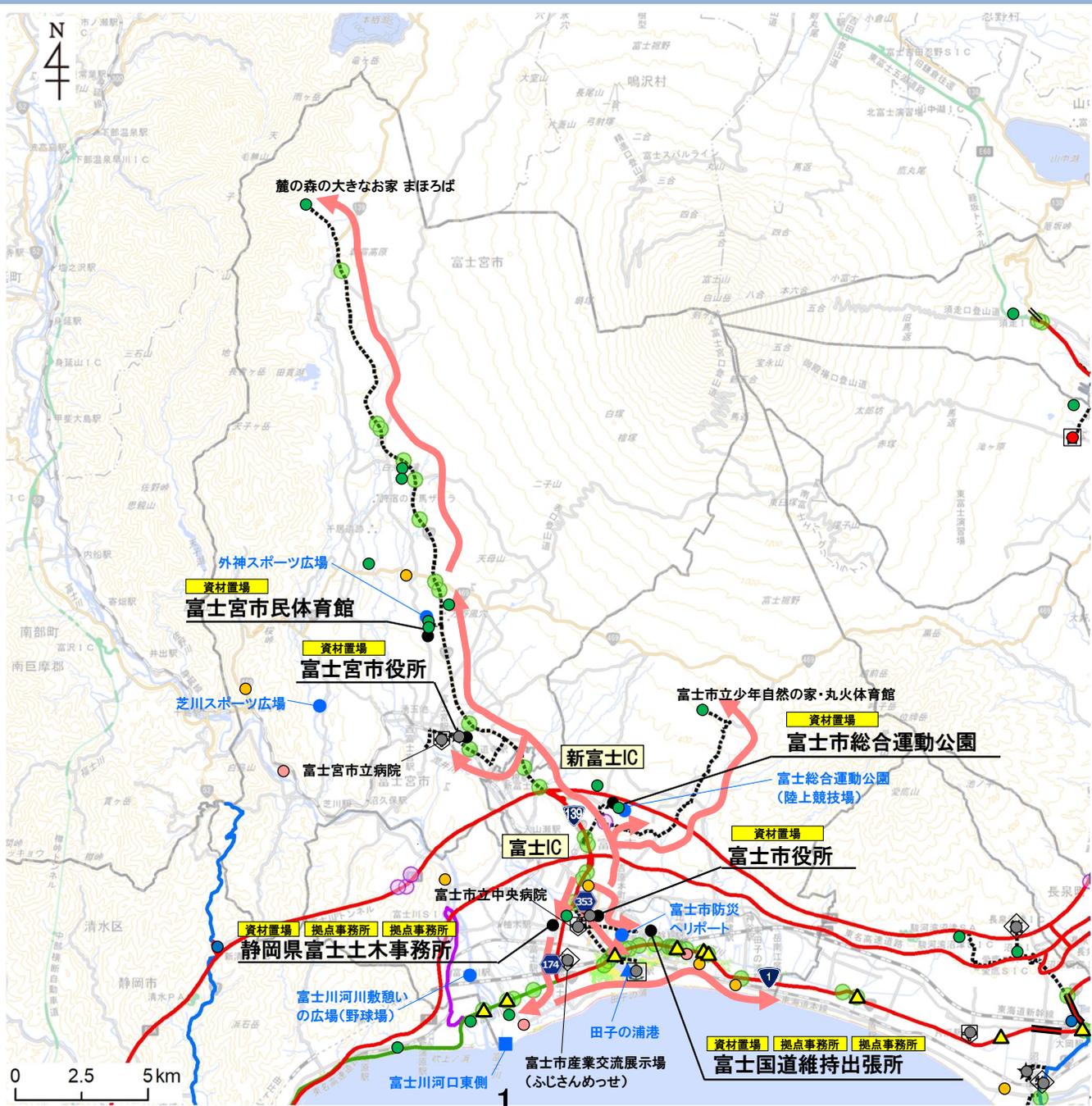
# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 静岡県／富士・富士宮

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	3,574m <sup>3</sup>
橋梁段差	104橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所
トンネル崩落	0箇所

●	：ヘリポートを有する拠点
▲	：海上輸送拠点・耐震強化岸壁
■	：砂浜



← 優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(55年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物が4%以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊕ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

注) 高速道路については、概ね1日で啓開を行うものとする。

注) 迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。

注) 24時間体制(8時間×3班)で算定したものである。

注) 被害量、必要資材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 静岡県／北駿

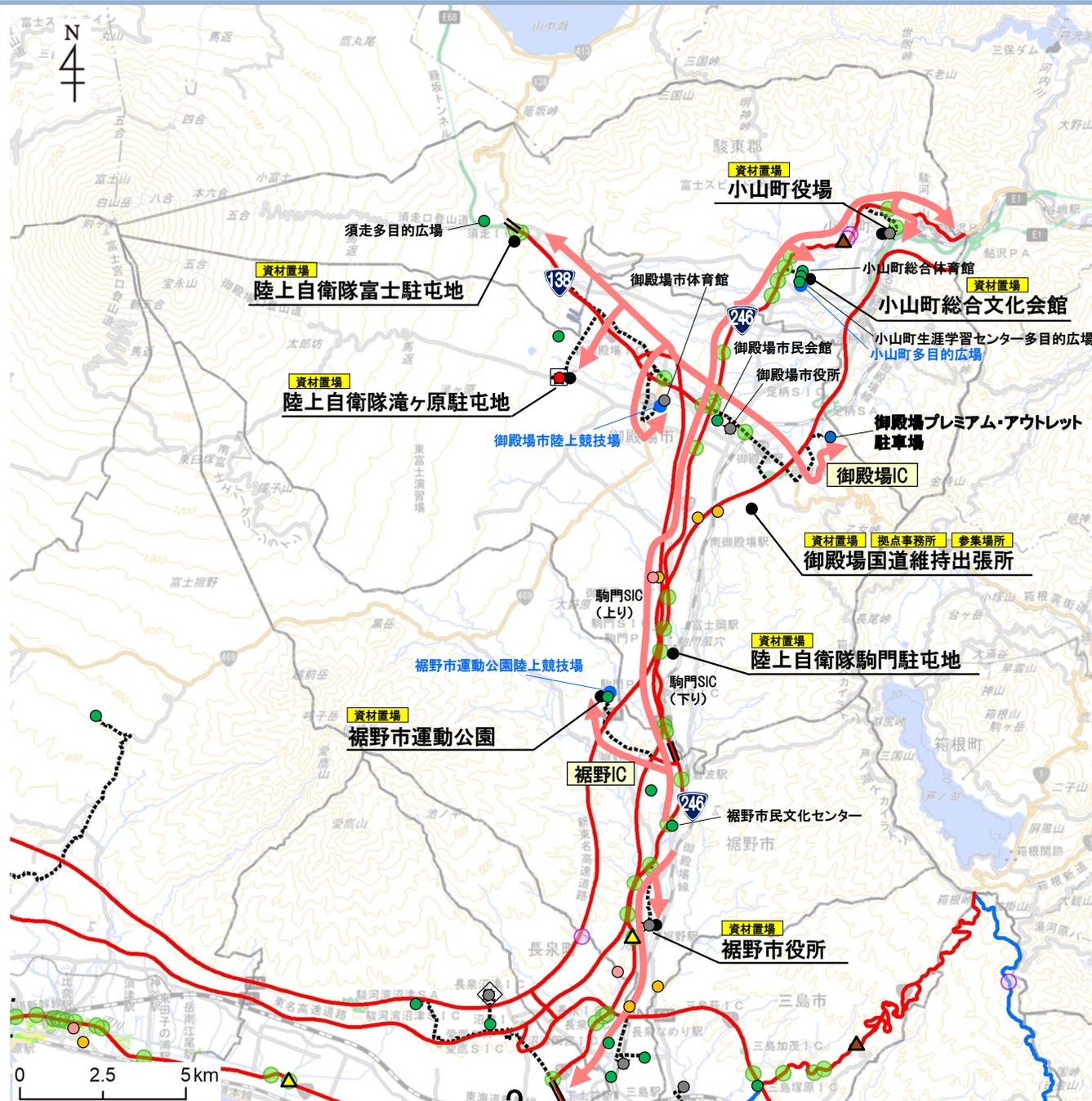
最大浸水深 (m)	
0.01m以上~0.3m未満	0.3m以上~1.0m未満
1.0m以上~2.0m未満	2.0m以上~3.0m未満
3.0m以上~5.0m未満	5.0m以上~10m未満
10m以上~20m未満	20m以上~

### 被害想定

がれき量	508m <sup>3</sup>
橋梁段差	74橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	2箇所
トンネル崩落	0箇所

凡例	
空路・海路のアクセスに寄与する拠点	
※広域支援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外	
●	：ヘリポートを有する拠点
▲	：海上輸送拠点・耐震強化岸壁
■	：砂浜

注) 高速道路については、概ね1日で啓開を行うものとする。  
 注) 迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。



← 優先啓開ルート  
 ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

凡例	
●	：広域進出拠点
●	：進出拠点
●	：救助活動拠点
●	：その他の拠点
—	：広域支援ルート
—	：被災地進出ルート
—	：被災地内ルート
—	：迂回路
—	：●●● 拠点アクセスルート
—	：— 無電柱化区間
■	：沿道建築物の耐震化状況
重なるハザードマップで公表(85年度末時点)され ている耐震性能が不足する建築物が5棟以上の路線	
▲	：速やかな機能回復未確保の橋梁
▲	：盛土対策必要箇所

凡例	
◎	：国機関庁舎
○	：高速道路管理庁舎
★	：地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆	：地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
⊕	：海上保安庁庁舎
⊗	：警察本部庁舎
⊙	：消防本部庁舎
⊕	：航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
⊕	：陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
⊕	：空港 (公共用ヘリポート含む)
⊕	：非公共用ヘリポート・発着基地
⊕	：港湾関係 指定特定重要港湾
⊕	：港湾関係 重要港湾
⊕	：港湾関係 地方港湾
⊕	：災害拠点病院 基幹災害医療センター
⊕	：災害拠点病院 地域災害医療センター
⊕	：災害用医薬品備蓄拠点等
⊕	：東海地震・東南海・南海地震進出拠点
⊕	：航空輸送拠点
⊕	：広域物資輸送拠点
⊕	：公的物資拠点
⊕	：民間物資拠点ターミナル
⊕	：民間物資拠点倉庫
⊕	：道の駅
⊕	：油槽所・製油所
⊕	：緊急物資輸送用耐震強化岸壁
⊕	：幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
⊕	：原子力発電所
⊕	：河川防災ステーション
●	：その他

注) 24時間体制(8時間×3班)で算定したものである。  
 注) 被害量、必要資材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート の具体計画

## 静岡県／南駿

最大浸水深 (m)	
0.01m以上~0.3m未満	0.3m以上~1.0m未満
1.0m以上~2.0m未満	2.0m以上~3.0m未満
3.0m以上~5.0m未満	5.0m以上~10m未満
10m以上~20m未満	20m以上~

### 被害想定

がれき量	8,781m <sup>3</sup>
橋梁段差	56橋台
橋梁流出	2橋
落橋	1橋
斜面崩壊	15箇所
トンネル崩落	0箇所



← 優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- ### 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(85年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物が6棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- ### 凡例
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊙ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊕ 消防本部庁舎
  - ⊖ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊖ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊖ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊖ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊖ 港湾関係 重要港湾
  - ⊖ 港湾関係 地方港湾
  - ⊖ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊖ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊖ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊖ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊖ 航空輸送拠点
  - ⊖ 広域物資輸送拠点
  - ⊖ 公的物資拠点
  - ⊖ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊖ 民間物資拠点倉庫
  - ⊖ 道の駅
  - ⊖ 油槽所・製油所
  - ⊖ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊖ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊖ 原子力発電所
  - ⊖ 河川防災ステーション
  - その他

- ### 凡例
- 空路・海路のアクセスに寄与する拠点  
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁
  - : 砂浜

注) 高速道路については、概ね1日で啓開を行うものとする。  
注) 迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。

注) 24時間体制(8時間×3班)で算定したものである。  
注) 被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート の具体計画

## 静岡県／三島・函南

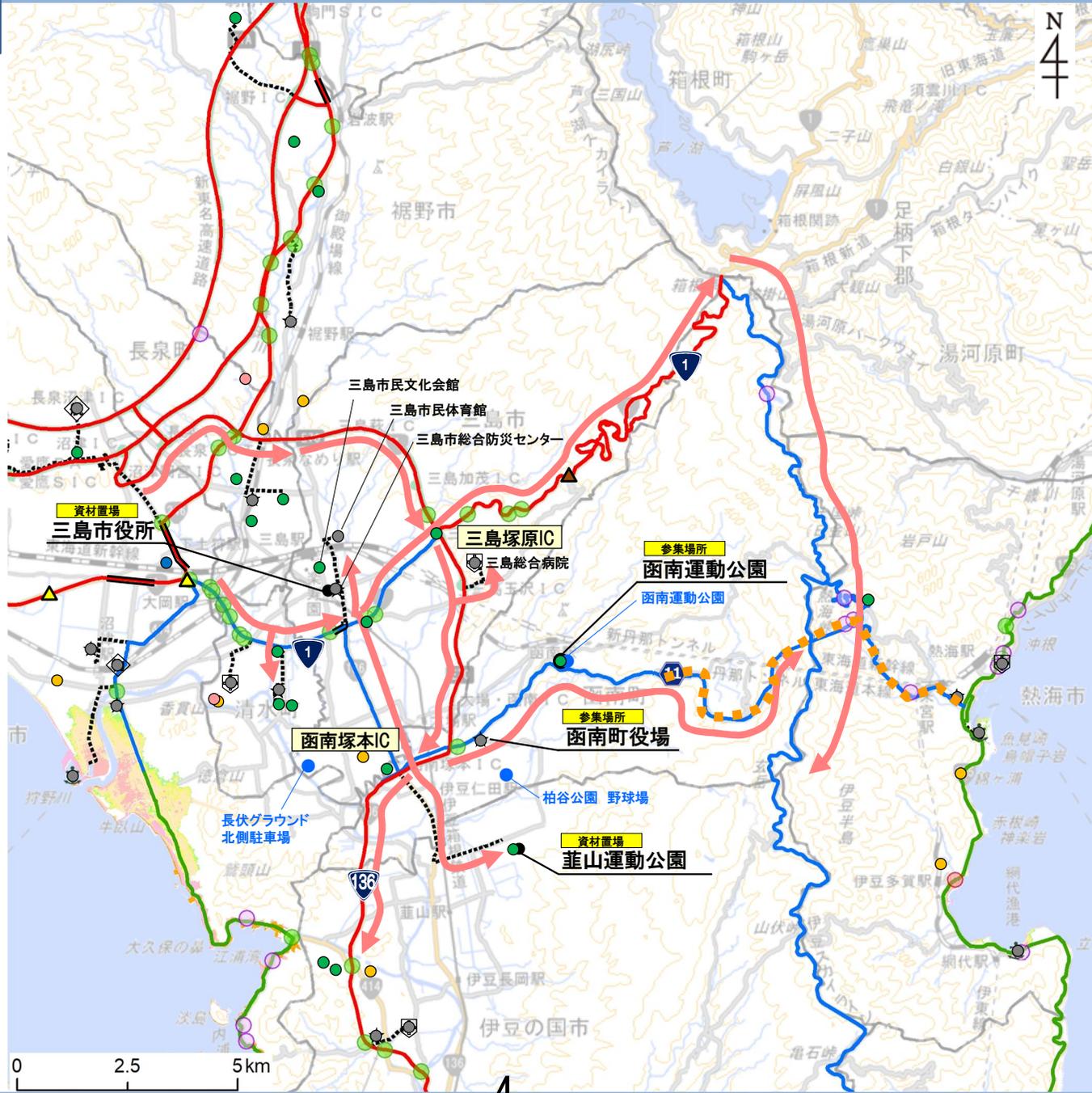
0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	398m <sup>3</sup>
橋梁段差	16橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	1箇所
トンネル崩落	0箇所

**凡例**

空路・海路のアクセスに寄与する拠点  
 ※広域支援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外

- : ヘリポートを有する拠点
- ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁
- : 砂浜



← 優先啓開ルート  
 ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例**
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - ⋯ 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(15年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物が6棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例**
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊗ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震・南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

注) 高速道路については、概ね1日で啓開を行うものとする。  
 注) 迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。

注) 24時間体制(8時間×3班)で算定したものである。  
 注) 被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

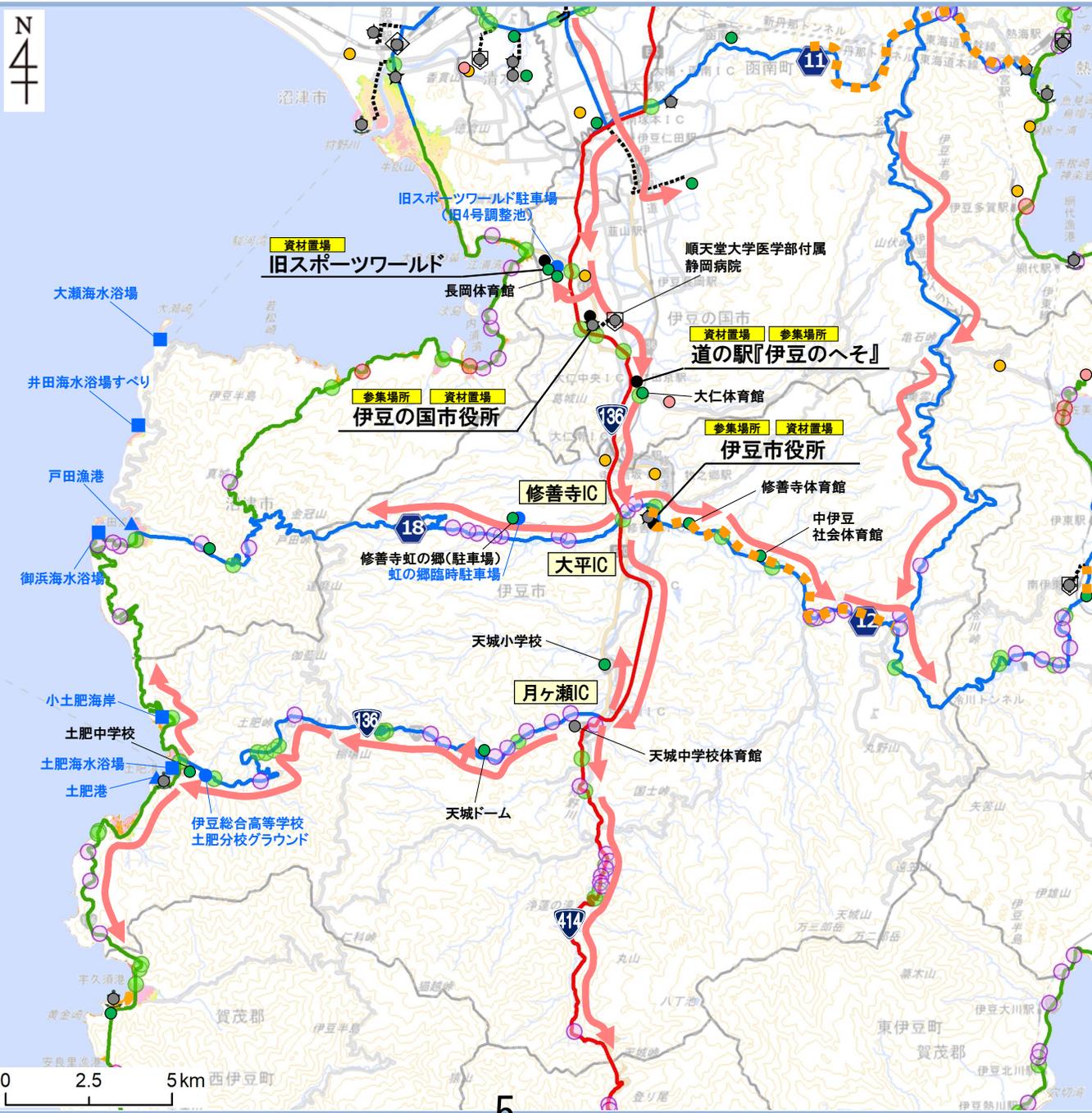
## 静岡県／田方

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満	2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満	5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満	20m以上～

被害想定	
がれき量	4,495㎡
橋梁段差	62橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	36箇所
トンネル崩落	0箇所



0 2.5 5km 西伊豆町



← 優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - ⋯ 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(85年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物が6棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊙ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊖ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ✈ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ✈ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 空路・海路のアクセスに寄与する拠点  
※広域支援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁
  - : 砂浜

注) 高速道路については、概ね1日で啓開を行うものとする。  
注) 迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。  
注) 被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート of 具体計画

## 静岡県／熱海・伊東

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満	2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満	5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満	20m以上～

### 被害想定

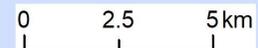
がれき量	10,576m <sup>3</sup>
橋梁段差	20橋台
橋梁流出	3橋
落橋	0橋
斜面崩壊	27箇所
トンネル崩落	0箇所



← 優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップ公表(05年度末時点)されて  
いる耐震性能が不足する建築物が0.5以上の屋根
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊗ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本庁舎
  - ⊗ 消防本庁舎
  - ⊗ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊗ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 地方港湾
  - ⊗ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊗ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊗ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊗ 航空輸送拠点
  - ⊗ 広域物資輸送拠点
  - ⊗ 公的物資拠点
  - ⊗ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊗ 民間物資拠点倉庫
  - ⊗ 道の駅
  - ⊗ 油槽所・製油所
  - ⊗ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊗ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊗ 原子力発電所
  - ⊗ 河川防災ステーション
  - その他



- 凡例
- 空路・海路のアクセスに寄与する拠点  
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁
  - : 砂浜

注) 高速道路については、概ね1日で啓開を行うものとする。  
注) 迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。

注) 24時間体制(8時間×3班)で算定したものである。  
注) 被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 静岡県／賀茂東

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満	2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満	5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満	20m以上～

### 被害想定

がれき量	17,749m <sup>3</sup>
橋梁段差	30橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	53箇所
トンネル崩落	1箇所

### 凡例

空路・海路のアクセスに寄与する拠点  
 ※広域支援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外

- : ヘリポートを有する拠点
- ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁
- : 砂浜



← 優先啓開ルート  
 ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- ### 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(5年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物が6棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- ### 凡例
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊗ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊗ 消防本部庁舎
  - ⊗ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊗ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 地方港湾
  - ⊗ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊗ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊗ 東海地震・東南海・南海地震震出拠点
  - ⊗ 航空輸送拠点
  - ⊗ 広域物資輸送拠点
  - ⊗ 公的物資拠点
  - ⊗ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊗ 民間物資拠点倉庫
  - ⊗ 道の駅
  - ⊗ 油槽所・製油所
  - ⊗ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊗ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊗ 原子力発電所
  - ⊗ 河川防災ステーション
  - その他

注) 高速道路については、概ね1日で啓開を行うものとする。  
 注) 迂回路がなく片押し作業となる区間は、啓開の迅速化を図るために適宜作業パーティを編成。

注) 24時間体制(8時間×3班)で算定したものである。  
 注) 被害量、必要資材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。



# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 静岡県／牧之原



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(65年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物が6棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 【施設】
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊗ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊗ 消防本部庁舎
  - ⊗ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊗ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 地方港湾
  - ⊗ 災害拠点病院 高幹災害医療センター
  - ⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊗ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊗ 航空輸送拠点
  - ⊗ 広域物資輸送拠点
  - ⊗ 公的物資拠点
  - ⊗ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊗ 民間物資拠点倉庫
  - ⊗ 道の駅
  - ⊗ 油槽所・製油所
  - ⊗ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊗ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊗ 原子力発電所
  - ⊗ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊗ :ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊗ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁

被害想定	
がれき量	5,631m <sup>3</sup>
橋梁段差	106橋台
橋梁流出	3橋
落橋	0橋
斜面崩壊	3箇所
トンネル崩落	0箇所

最大浸水深 (m)	
0.01m以上~0.3m未満	0.3m以上~1.0m未満
1.0m以上~2.0m未満	2.0m以上~3.0m未満
3.0m以上~5.0m未満	5.0m以上~10m未満
10m以上~20m未満	20m以上~

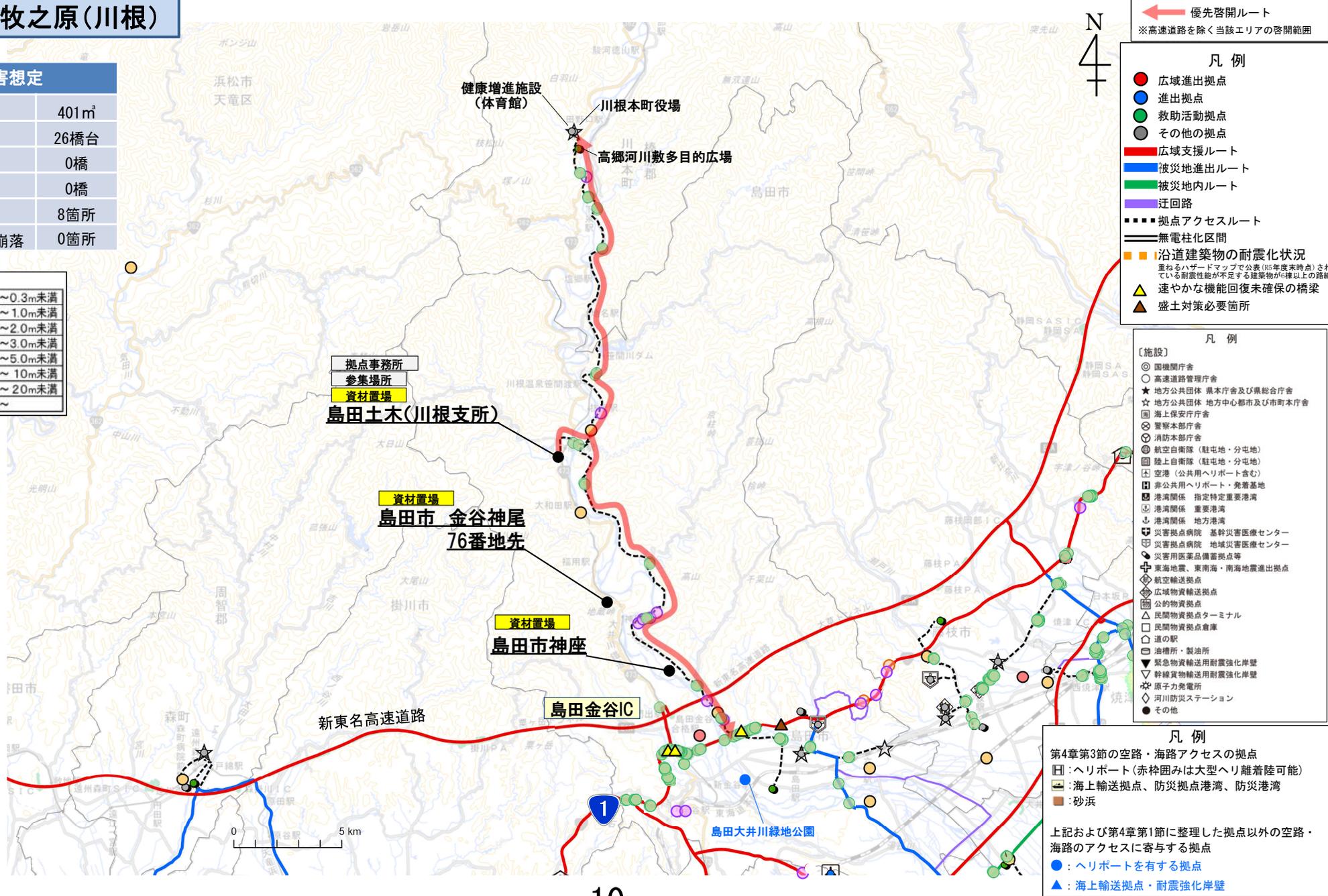
注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートのご具体計画

## 静岡県／牧之原(川根)

被害想定	
がれき量	401㎡
橋梁段差	26橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	8箇所
トンネル崩落	0箇所

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満	2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満	5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満	20m以上～



← 優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例**
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(85年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物が1棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例**
- 【施設】**
- ◎ 圏境開庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊙ 海上保安庁庁舎
  - ⊙ 警察本部庁舎
  - ⊙ 消防本部庁舎
  - ⊙ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊙ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊙ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊙ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊙ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊙ 港湾関係 重要港湾
  - ⊙ 港湾関係 地方港湾
  - ⊙ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊙ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊙ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊙ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊙ 航空輸送拠点
  - ⊙ 広域物資輸送拠点
  - ⊙ 公約物資拠点
  - ⊙ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊙ 民間物資拠点倉庫
  - ⊙ 道の駅
  - ⊙ 油槽所・製油所
  - ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▼ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊙ 原子力発電所
  - ⊙ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例**
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊙ : ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊙ : 海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - : 砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁

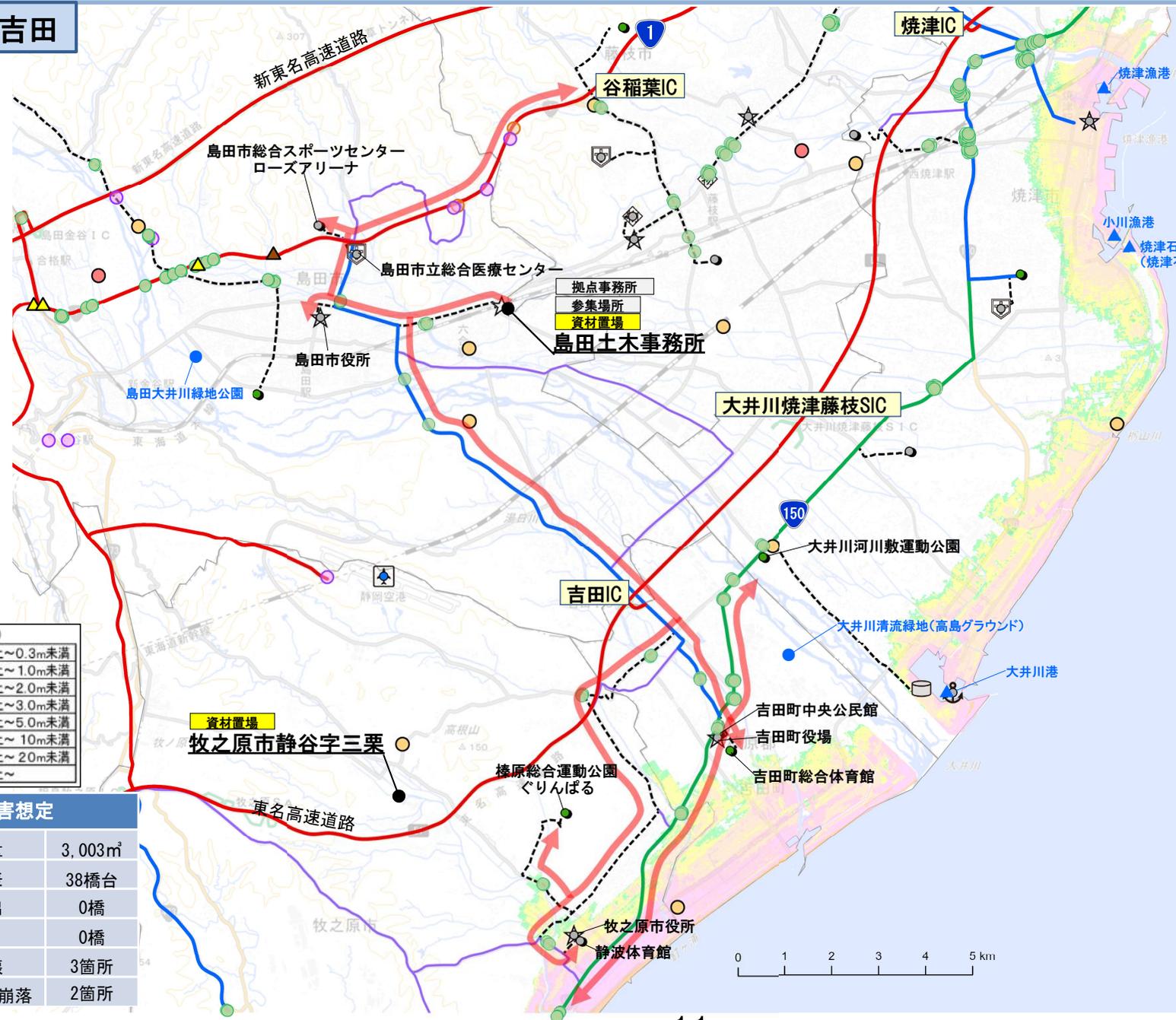
注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート of 具体計画

静岡県 / 吉田

0.01m以上~0.3m未満
0.3m以上~1.0m未満
1.0m以上~2.0m未満
2.0m以上~3.0m未満
3.0m以上~5.0m未満
5.0m以上~10m未満
10m以上~20m未満
20m以上~

がれき量	3,003m <sup>2</sup>
橋梁段差	38橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	3箇所
トンネル崩落	2箇所



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
参照ハザードマップで公表(55年度末時点)とされ  
ている耐震性能が不足する建築物が(5)種以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 【施設】
- ◎ 圏機関庁舎
  - ◎ 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊕ 警察本庁舎
  - ⊕ 消防本庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震、東南海、南海地震津波進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公約物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▼ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ◇ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊕ :ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート の具体計画

## 静岡県／焼津

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満	2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満	5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満	20m以上～

被害想定	
がれき量	4,089m <sup>3</sup>
橋梁段差	80橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	1箇所
トンネル崩落	0箇所



← 優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
※このハザードマップで公表(85年度発表時点)された耐震性能が不足する建築物が6種以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 【施設】
- ◎ 国機関庁舎
  - ◎ 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊕ 警察本部庁舎
  - ⊕ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震・東南海・南海地震震出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▼ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ◇ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊕ :ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁



注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 静岡県／静岡

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	
0.3m以上～1.0m未満	
1.0m以上～2.0m未満	
2.0m以上～3.0m未満	
3.0m以上～5.0m未満	
5.0m以上～10m未満	
10m以上～20m未満	
20m以上～	

被害想定	
がれき量	2,171m <sup>3</sup>
橋梁段差	29橋台
橋梁流出	1橋
落橋	0橋
斜面崩壊	1箇所
トンネル崩落	0箇所



← 優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

**凡例**

- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間
- 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(05年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物が確認された路線
- ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
- ▲ 盛土対策必要箇所

**凡例**

【施設】

- ◎ 国機関庁舎
- 高速道路管理庁舎
- ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- ⊕ 海上保安庁庁舎
- ⊙ 警察本庁庁舎
- ⊙ 消防本庁庁舎
- ⊙ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
- ⊙ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
- ⊙ 空港 (共用ヘリポート含む)
- ⊙ 非共用ヘリポート・発着基地
- ⊙ 港湾関係 指定特定重要港湾
- ⊙ 港湾関係 重要港湾
- ⊙ 港湾関係 地方港湾
- ⊙ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
- ⊙ 災害拠点病院 地域災害医療センター
- ⊙ 災害用医薬品備蓄拠点等
- ⊙ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
- ⊙ 航空輸送拠点
- ⊙ 広域物資輸送拠点
- ⊙ 公的物資拠点
- ⊙ 民間物資拠点ターミナル
- 民間物資拠点倉庫
- 道の駅
- 油槽所・製油所
- ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- ▼ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
- ⊙ 原子力発電所
- ◇ 河川防災ステーション
- その他

**凡例**

第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点

- ⊙ : ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
- ⊙ : 海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
- : 砂浜

上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点

- : ヘリポートを有する拠点
- ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 静岡県／清水

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	6,453m <sup>3</sup>
橋梁段差	41橋台
橋梁流出	1橋
落橋	0橋
斜面崩壊	1箇所
トンネル崩落	0箇所



← 優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(10年度末時点)とされている耐震性能が不足する建築物が1棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 【施設】
- ◎ 国機関庁舎
  - ◎ 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊕ 警察本庁舎
  - ⊕ 消防本庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防犯ステーション
  - その他

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊕:ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕:海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲:海上輸送拠点・耐震強化岸壁

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート of 具体計画

## 静岡県／興津

最大浸水深 (m)	
0.01m以上~0.3m未満	
0.3m以上~1.0m未満	
1.0m以上~2.0m未満	
2.0m以上~3.0m未満	
3.0m以上~5.0m未満	
5.0m以上~10m未満	
10m以上~20m未満	
20m以上~	

被害想定	
がれき量	2,276m <sup>3</sup>
橋梁段差	50橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	2箇所
トンネル崩落	0箇所



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 【施設】
- ◎ 国機関庁舎
  - ◎ 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ◎ 海上保安庁庁舎
  - ◎ 警察本部庁舎
  - ◎ 消防本部庁舎
  - ◎ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ◎ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ◎ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ◎ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ◎ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ◎ 港湾関係 重要港湾
  - ◎ 港湾関係 地方港湾
  - ◎ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ◎ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ◎ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ◎ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ◎ 航空輸送拠点
  - ◎ 広域物資輸送拠点
  - ◎ 公的物資拠点
  - △ 民間物資拠点ターミナル
  - 民間物資拠点倉庫
  - ◎ 道の駅
  - ◎ 油槽所・製油所
  - ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▽ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ◎ 原子力発電所
  - ◇ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- 田：ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - 田：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - 田：砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- ：ヘリポートを有する拠点
  - ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁



注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

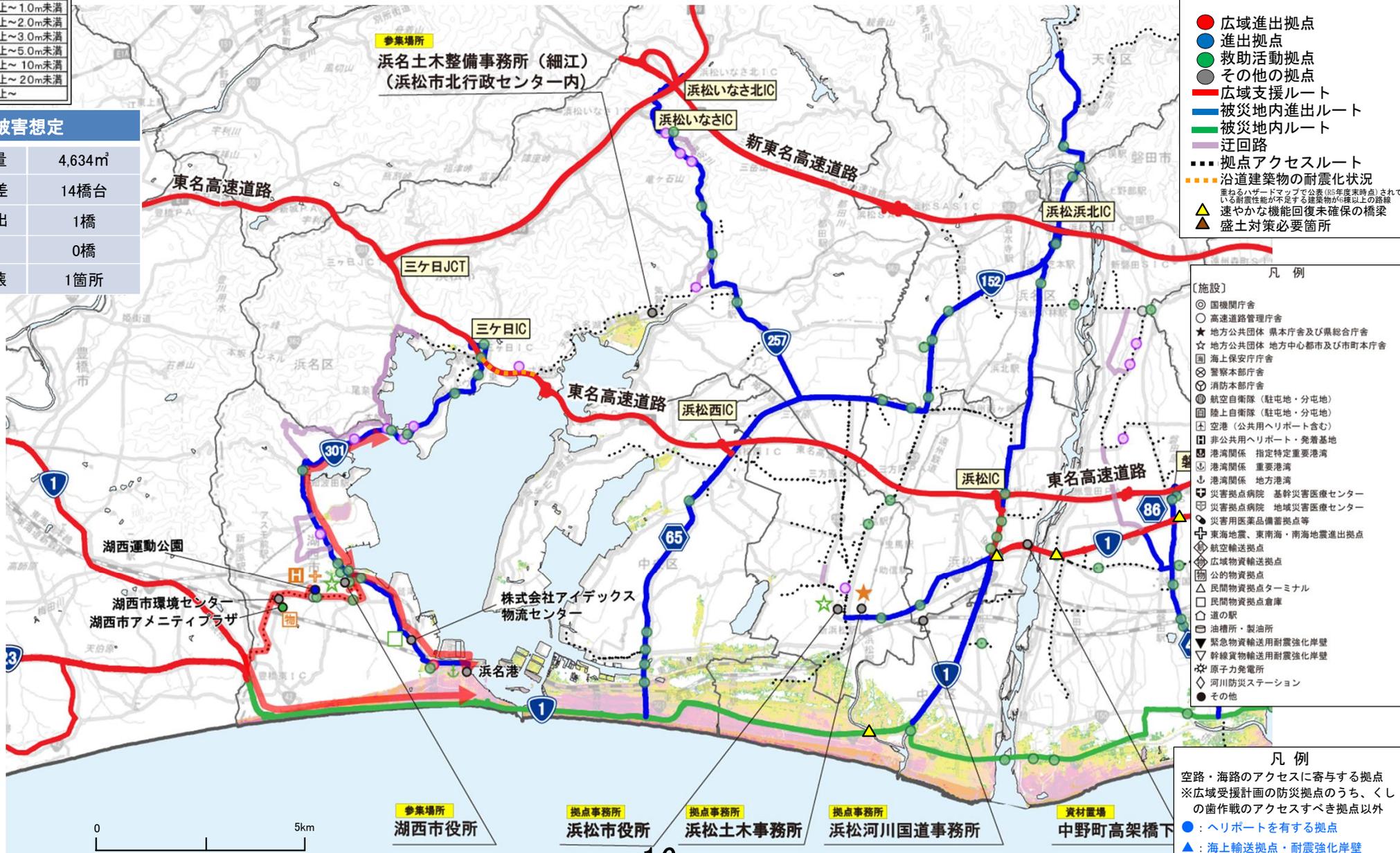
# くしの歯ルート・拠点アクセスルート の具体計画

## 静岡県／湖西

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満	2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満	5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満	20m以上～

### 被害想定

がれき量	4,634m <sup>3</sup>
● 橋梁段差	14橋台
● 橋梁流出	1橋
○ 落橋	0橋
○ 斜面崩壊	1箇所



← 道路啓開ルート

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地内進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 沿道建築物の耐震化状況
  - 変わるハザードマップで公表(85年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物が6棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 【施設】
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊙ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 空路・海路のアクセスに寄与する拠点  
※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁

参考場所 湖西市役所 浜松市役所 浜松土木事務所 浜松河川国道事務所 中野町高架橋下

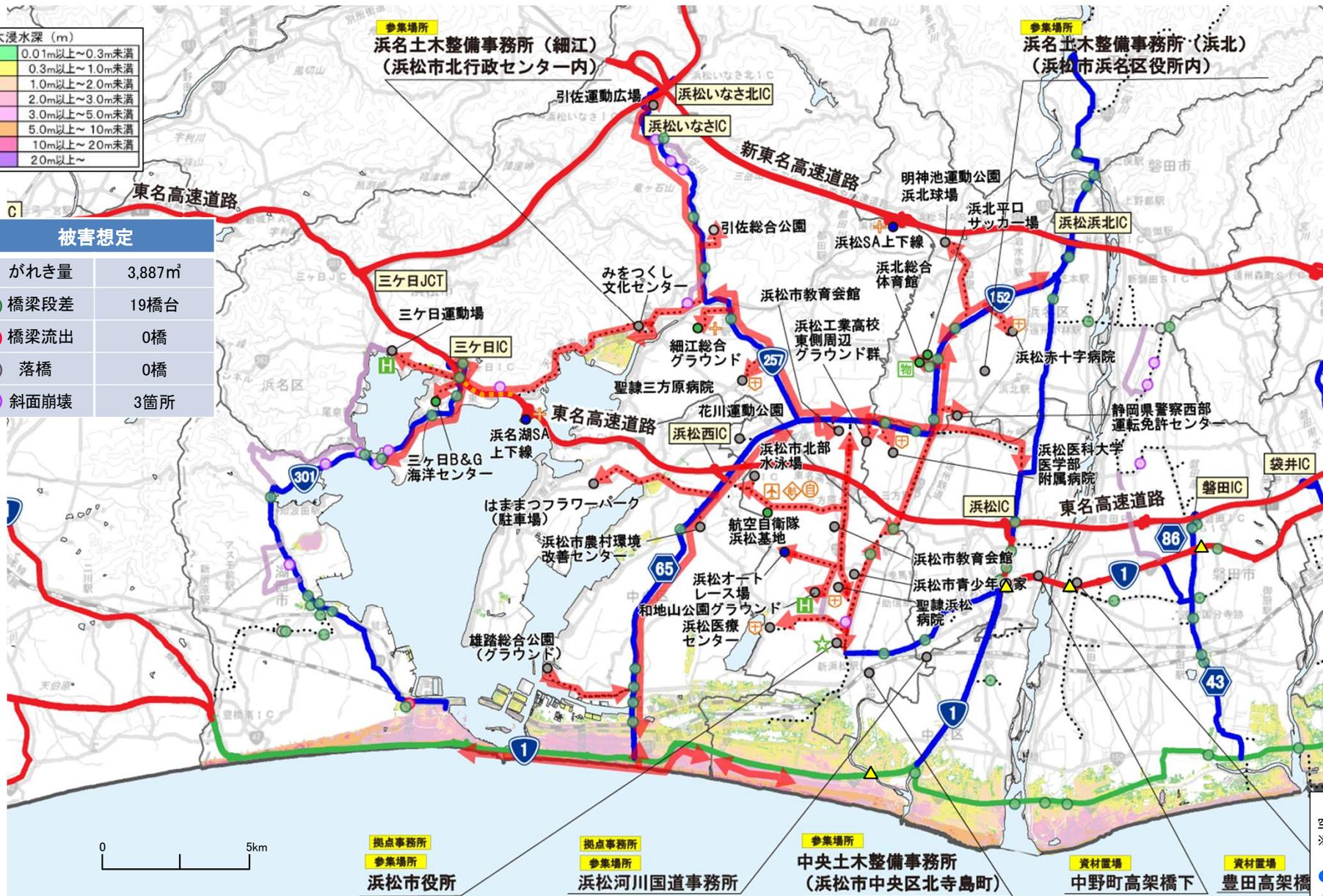
注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート の具体計画

## 静岡県 / 浜松②

最大浸水深 (m)	
0.01m以上~0.3m未満	0.3m以上~1.0m未満
1.0m以上~2.0m未満	2.0m以上~3.0m未満
3.0m以上~5.0m未満	5.0m以上~10m未満
10m以上~20m未満	20m以上~

被害想定	
がれき量	3,887m <sup>3</sup>
橋梁段差	19橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	3箇所



← 道路啓開ルート

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地内進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 沿道建築物の耐震化状況
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 〔施設〕
- 圏域開庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊗ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊗ 消防本部庁舎
  - ⊗ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 空港 (共用用ヘリポート含む)
  - ⊗ 非共用用ヘリポート・発着基地
  - ⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 地方港湾
  - ⊗ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊗ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊗ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊗ 航空輸送拠点
  - ⊗ 広域物資輸送拠点
  - ⊗ 公的物資拠点
  - ⊗ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊗ 民間物資拠点倉庫
  - ⊗ 道の駅
  - ⊗ 油槽所・製油所
  - ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▼ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊗ 原子力発電所
  - ⊗ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 空路・海路のアクセスに寄与する拠点  
 ※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁

拠点事務所 浜松市役所  
 拠点事務所 浜松河川国道事務所  
 中央土木整備事務所 (浜松市中央区北寺島町)  
 資材置場 中野町高架橋下  
 資材置場 豊田高架橋

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

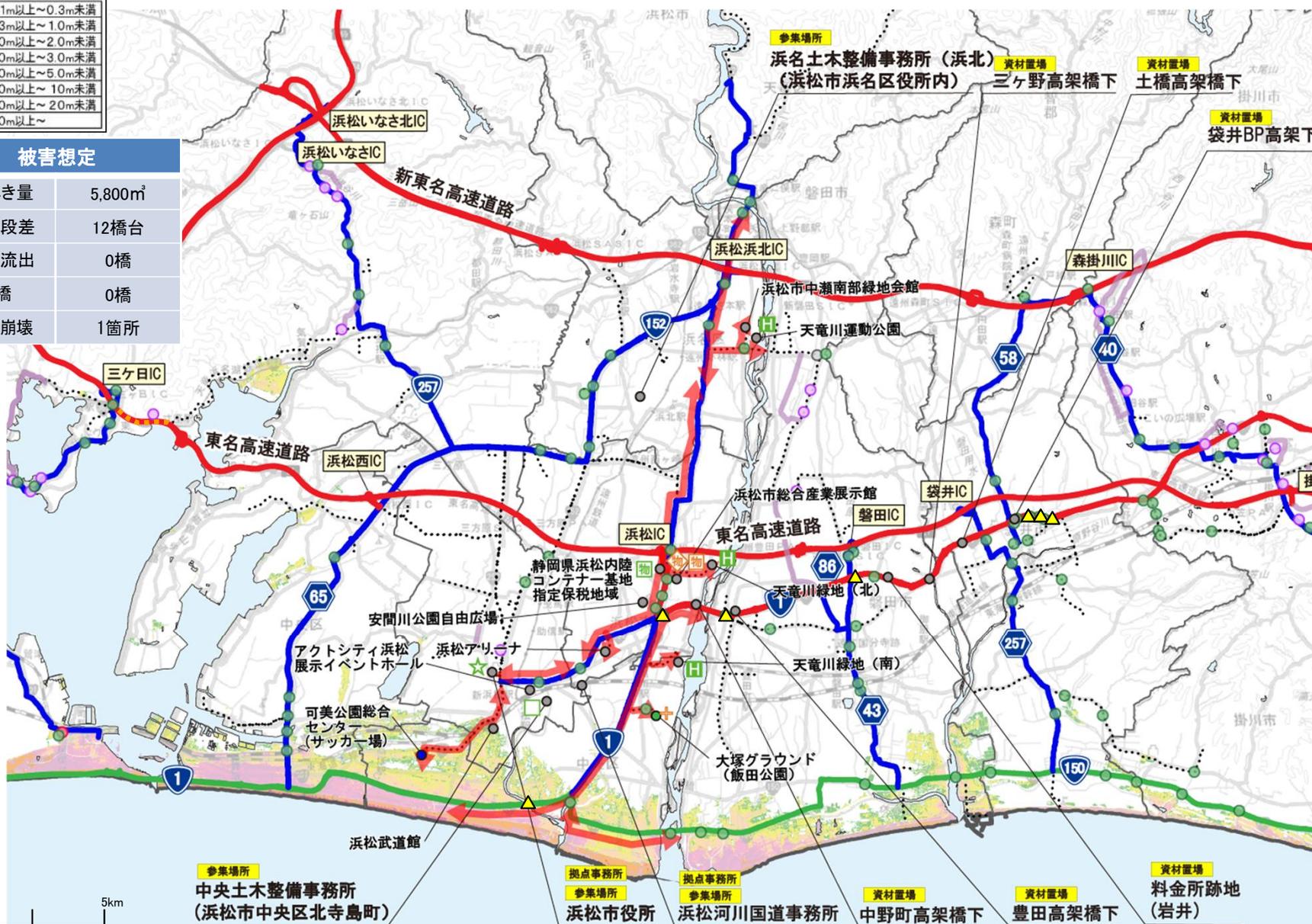
# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 静岡県／浜松①

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満	2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満	5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満	20m以上～

### 被害想定

がれき量	5,800m <sup>3</sup>
● 橋梁段差	12橋台
● 橋梁流出	0橋
○ 落橋	0橋
● 斜面崩壊	1箇所



← 道路啓開ルート

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - ← 広域支援ルート
  - ← 被災地内進出ルート
  - ← 被災地内ルート
  - ← 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 沿道建築物の耐震化状況
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊖ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊖ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊖ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊖ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊖ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊖ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 空路・海路のアクセスに寄与する拠点
  - ※ 広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
  - : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁



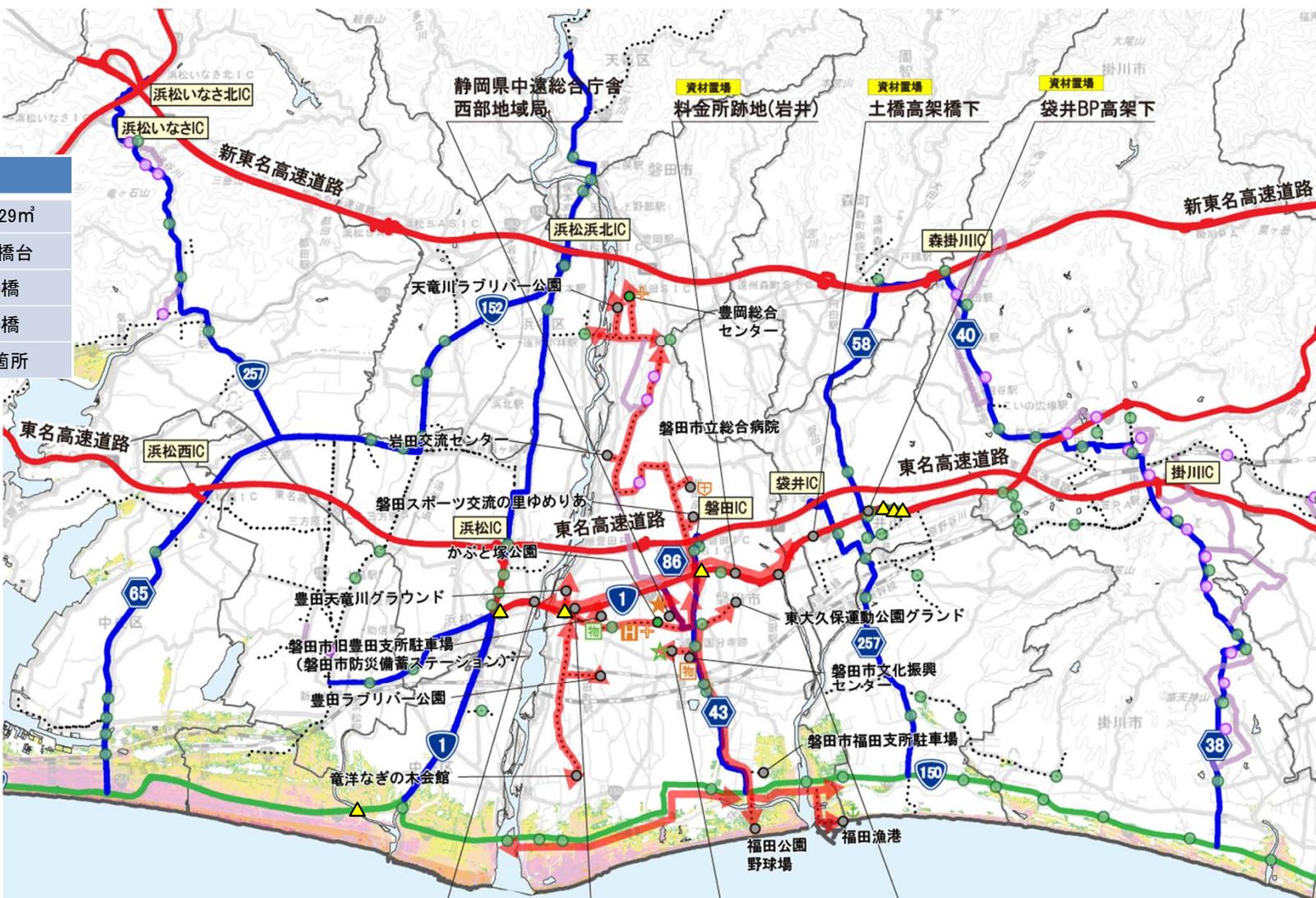
注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート of 具体計画

## 静岡県／磐田

0.01m以上~0.3m未満
0.3m以上~1.0m未満
1.0m以上~2.0m未満
2.0m以上~3.0m未満
3.0m以上~5.0m未満
5.0m以上~10m未満
10m以上~20m未満
20m以上~

がれき量	3,829m <sup>3</sup>
橋梁段差	19橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所



← 道路啓開ルート

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - ← 広域支援ルート
  - ← 被災地内進出ルート
  - ← 被災地内ルート
  - ← 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 沿道建築物の耐震化状況
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 【施設】
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊗ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震、東南海、南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資輸送ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- ※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁

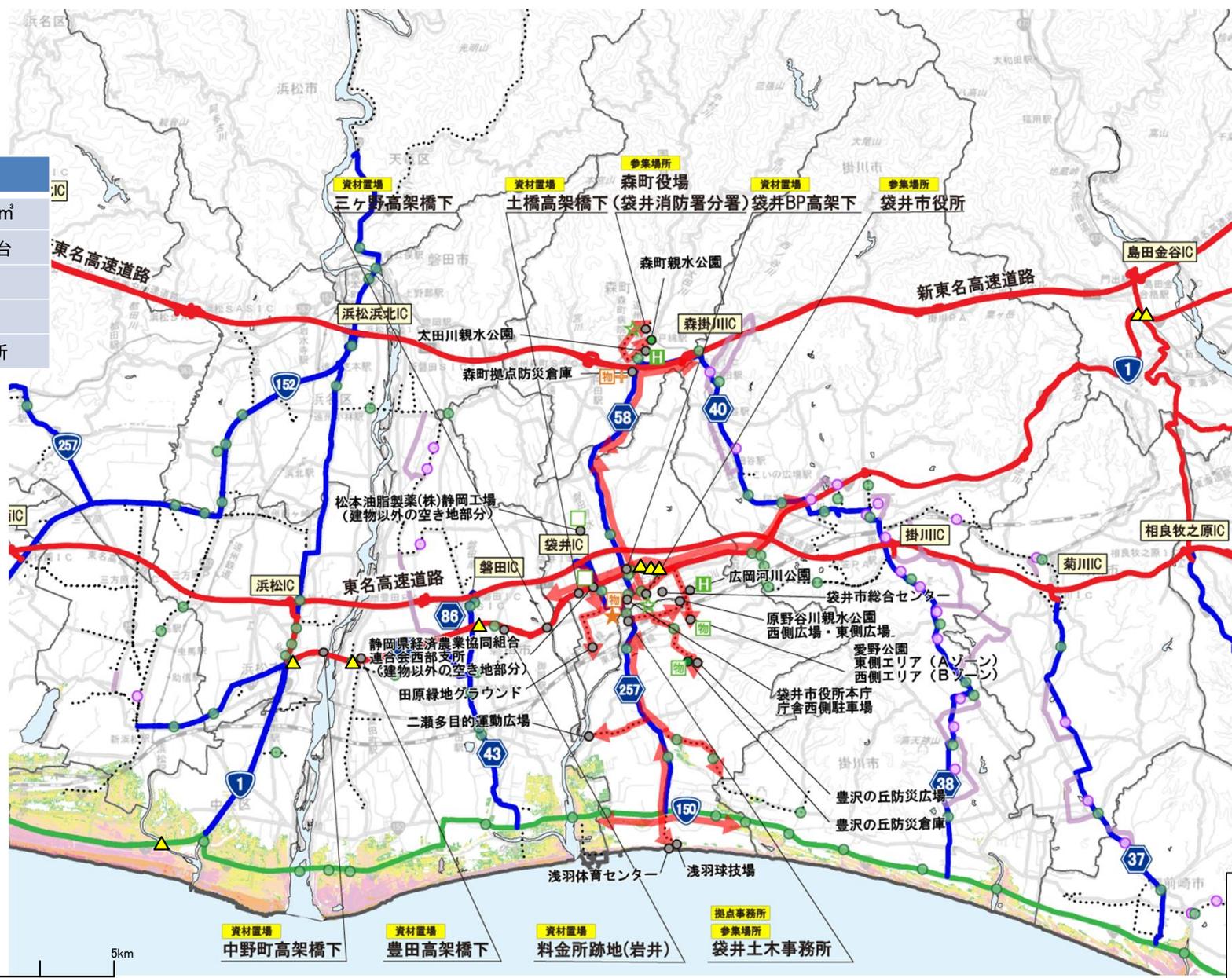
注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 静岡県／袋井

0.01m以上~0.3m未満
0.3m以上~1.0m未満
1.0m以上~2.0m未満
2.0m以上~3.0m未満
3.0m以上~5.0m未満
5.0m以上~10m未満
10m以上~20m未満
20m以上~

がれき量	6,447m <sup>3</sup>
橋梁段差	22橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所



← 道路啓開ルート

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地内進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 沿道建築物の耐震化状況  
異なるハザードマップで公表 (5年経過後) された  
いる耐震性能が不足する建築物が1棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 【施設】
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊗ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊗ 消防本部庁舎
  - ⊗ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊗ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 地方港湾
  - ⊗ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊗ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊗ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊗ 航空輸送拠点
  - ⊗ 広域物資輸送拠点
  - ⊗ 公的物資拠点
  - ⊗ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊗ 民間物資拠点倉庫
  - ⊗ 道の駅
  - ⊗ 油槽所・製油所
  - ⊗ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊗ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊗ 原子力発電所
  - ⊗ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 空路・海路のアクセスに寄与する拠点
  - ※広域支援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
  - : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁



注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 静岡県／掛川

最大浸水深 (m)

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

被害想定

がれき量	4,600m <sup>2</sup>
● 橋梁段差	15橋台
● 橋梁流出	0橋
○ 落橋	0橋
○ 斜面崩壊	6箇所



← 道路啓開ルート

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地内進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 沿道建築物の耐震化状況
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - 海上保安庁庁舎
  - ◎ 警察本部庁舎
  - ◎ 消防本部庁舎
  - ◎ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ◎ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ◎ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ◎ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ◎ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ◎ 港湾関係 重要港湾
  - ◎ 港湾関係 地方港湾
  - ◎ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ◎ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ◎ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ◎ 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
  - ◎ 航空輸送拠点
  - ◎ 広域物資輸送拠点
  - ◎ 公的物資拠点
  - △ 民間物資拠点ターミナル
  - 民間物資拠点倉庫
  - ◎ 道の駅
  - ◎ 油槽所・製油所
  - ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▼ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ◎ 原子力発電所
  - ◎ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- ※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 静岡県／菊川

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	
0.3m以上～1.0m未満	
1.0m以上～2.0m未満	
2.0m以上～3.0m未満	
3.0m以上～5.0m未満	
5.0m以上～10m未満	
10m以上～20m未満	
20m以上～	

被害想定	
がれき量	2,989m <sup>3</sup>
● 橋梁段差	6橋台
● 橋梁流出	0橋
○ 落橋	0橋
○ 斜面崩壊	6箇所



← 道路啓開ルート

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地内進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 沿道建築物の耐震化状況
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 【施設】
- 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊗ 消防本部庁舎
  - ⊗ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊗ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 地方港湾
  - ⊗ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊗ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊗ 東海地震・東南海・南海地震震出拠点
  - ⊗ 航空輸送拠点
  - ⊗ 広域物資輸送拠点
  - ⊗ 公的物資拠点
  - ⊗ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊗ 民間物資拠点倉庫
  - ⊗ 道の駅
  - ⊗ 油槽所・製油所
  - ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▼ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊗ 原子力発電所
  - ◇ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 空路・海路のアクセスに寄与する拠点  
 ※広域受援計画の防災拠点のうち、くしの歯作戦のアクセスすべき拠点以外
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁



注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／田原

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	5,116㎡
橋梁段差	22橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	1箇所



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

凡例

- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間
- 沿道建築物の耐震化状況  
（異なるハザードマップで公表している実測地点を  
もって耐震性能が不足する建築物が確認されている路線）
- ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
- ▲ 盛土対策必要箇所

凡例

【施設】

- ◎ 国機関庁舎
- 高速道路管理庁舎
- ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- ⊗ 海上保安庁庁舎
- ⊗ 警察本部庁舎
- ⊗ 消防本部庁舎
- ⊗ 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
- ⊗ 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
- ⊗ 空港（公共用ヘリポート含む）
- ⊗ 非公共用ヘリポート・発着基地
- ⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾
- ⊗ 港湾関係 重要港湾
- ⊗ 港湾関係 地方港湾
- ⊗ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
- ⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター
- ⊗ 災害用医薬品備蓄拠点等
- ⊗ 東海地震、東南海、南海地震進出拠点
- ⊗ 航空輸送拠点
- ⊗ 広域物資輸送拠点
- ⊗ 公的物資拠点
- △ 民間物資拠点ターミナル
- 民間物資拠点倉庫
- ⊗ 道の駅
- ⊗ 油槽所・製油所
- ⊗ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- ⊗ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- ⊗ 原子力発電所
- ◇ 河川防災ステーション
- その他

凡例

- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント

凡例

第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点

- ⊗ :ヘリポート（赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能）
- ⊗ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
- :砂浜

上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点

- :ヘリポートを有する拠点
- ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／豊橋

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	1,789m <sup>3</sup>
橋梁段差	81橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
異なるハザードマップの公表(5年度実施)とされている耐震性能が不足する建築物が以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊖ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ⊖ 航空自衛隊(駐屯地・分屯地)
  - ⊖ 陸上自衛隊(駐屯地・分屯地)
  - ⊖ 空港(公共用ヘリポート含む)
  - ⊖ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊖ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊖ 港湾関係 重要港湾
  - ⊖ 港湾関係 地方港湾
  - ⊖ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊖ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊖ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊖ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊖ 航空輸送拠点
  - ⊖ 広域物資輸送拠点
  - ⊖ 公的物資拠点
  - ⊖ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊖ 民間物資拠点倉庫
  - ⊖ 道の駅
  - ⊖ 油槽所・製油所
  - ⊖ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊖ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊖ 原子力発電所
  - ◇ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊖ :ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊖ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／蒲郡

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	422m <sup>3</sup>
橋梁段差	0橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

- 【施設】
- ◎ 国機関庁舎
  - ◎ 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本庁舎
  - ⊙ 消防本庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - △ 民間物資拠点ターミナル
  - 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▽ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ◇ 河川防災ステーション
  - その他



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
異なるハザードマップで公表(05年度実施点)とされている耐震性能が不足する建築物が4棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊕ :ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁

- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント



注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図



注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／西尾

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満	2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満	5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満	20m以上～

被害想定	
がれき量	3,959m <sup>3</sup>
橋梁段差	36橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	3箇所

凡例	
●	資材置場
●	コンクリートプラント
●	アスファルトプラント

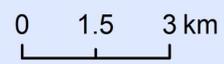
凡例	
第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点	
Ⓜ	ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
Ⓜ	海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
■	砂浜
上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点	
●	ヘリポートを有する拠点
▲	海上輸送拠点・耐震強化岸壁



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

凡例	
●	広域進出拠点
●	進出拠点
●	救助活動拠点
●	その他の拠点
—	広域支援ルート
—	被災地進出ルート
—	被災地内ルート
—	迂回路
—	拠点アクセスルート
—	無電柱化区間
■	沿道建築物の耐震化状況 重ねるハードマップで公表(05年度実施点)されている耐震性能が不足する建築物が4棟以上の路線
▲	速やかな機能回復未確保の橋梁
▲	盛土対策必要箇所

凡例	
Ⓜ	国機関庁舎
Ⓜ	高速道路管理庁舎
★	地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆	地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
Ⓜ	海上保安庁庁舎
Ⓜ	警察本部庁舎
Ⓜ	消防本部庁舎
Ⓜ	航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
Ⓜ	陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
Ⓜ	空港 (公共用ヘリポート含む)
Ⓜ	非公共用ヘリポート・発着基地
Ⓜ	港湾関係 指定特定重要港湾
Ⓜ	港湾関係 重要港湾
Ⓜ	港湾関係 地方港湾
Ⓜ	災害拠点病院 基幹災害医療センター
Ⓜ	災害拠点病院 地域災害医療センター
Ⓜ	災害用医薬品備蓄拠点等
Ⓜ	東海地震、東南海・南海地震進出拠点
Ⓜ	航空輸送拠点
Ⓜ	広域物資輸送拠点
Ⓜ	公的物資拠点
Ⓜ	民間物資拠点ターミナル
Ⓜ	民間物資拠点倉庫
Ⓜ	道の駅
Ⓜ	油槽所・製油所
Ⓜ	緊急物資輸送用耐震強化岸壁
Ⓜ	幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
Ⓜ	原子力発電所
Ⓜ	河川防災ステーション
●	その他



注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図



## 愛知県／碧南

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満	2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満	5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満	20m以上～

被害想定	
がれき量	1,147m <sup>3</sup>
橋梁段差	37橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ☐: ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ☐: 海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - ☐: 砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲: 海上輸送拠点・耐震強化岸壁

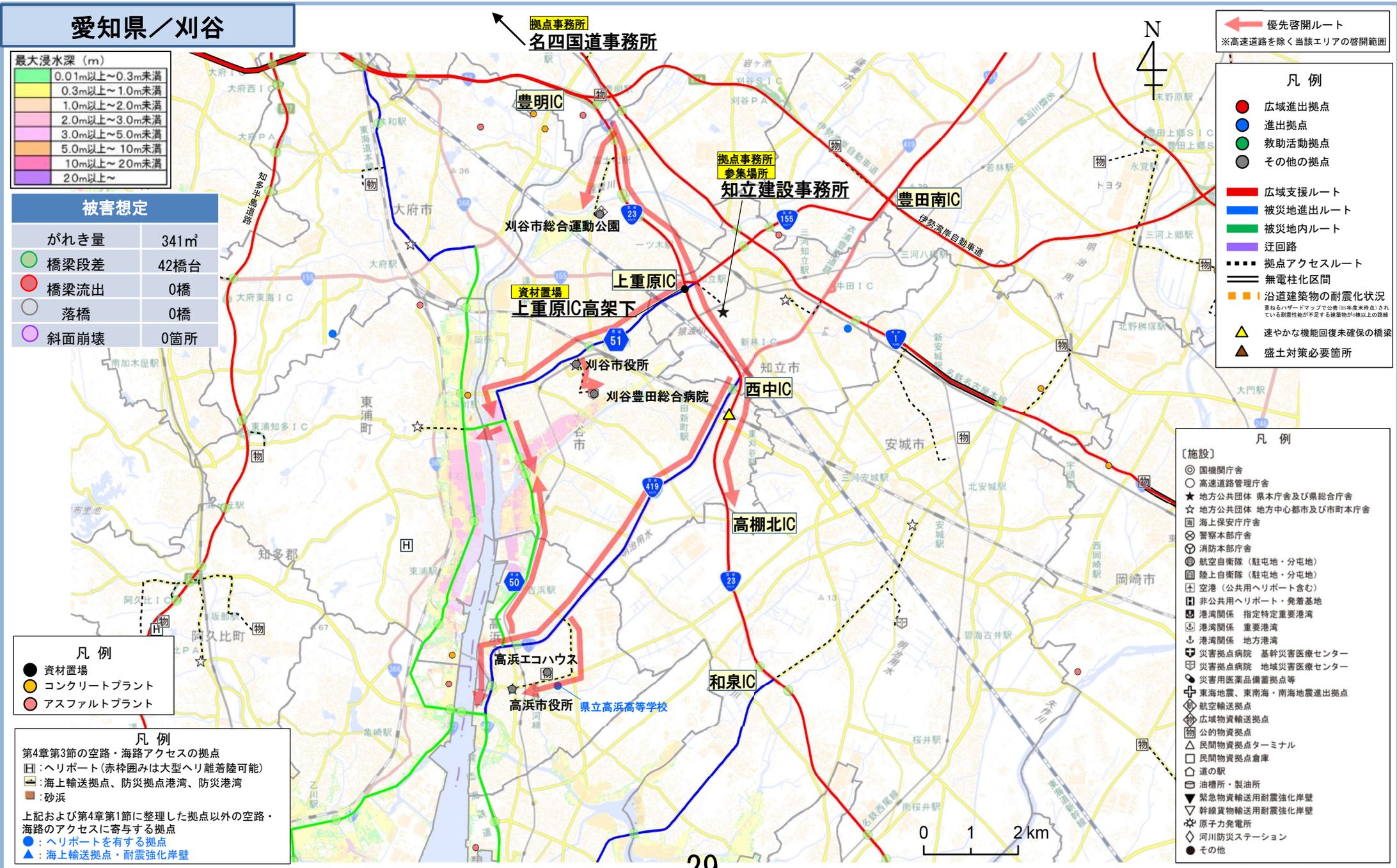
優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
変わるハザードマップで公表(05年度実施点)されている耐震性能が不足する建築物が緑以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 【施設】
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ☐ 海上保安庁庁舎
  - ☐ 警察本部庁舎
  - ☐ 消防本部庁舎
  - ☐ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ☐ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ☐ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ☐ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ☐ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ☐ 港湾関係 重要港湾
  - ☐ 港湾関係 地方港湾
  - ☐ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ☐ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ☐ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ☐ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ☐ 航空輸送拠点
  - ☐ 広域物資輸送拠点
  - ☐ 公的物資拠点
  - ☐ 民間物資拠点ターミナル
  - ☐ 民間物資拠点倉庫
  - ☐ 道の駅
  - ☐ 油槽所・製油所
  - ☐ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ☐ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ☐ 原子力発電所
  - ☐ 河川防災ステーション
  - その他

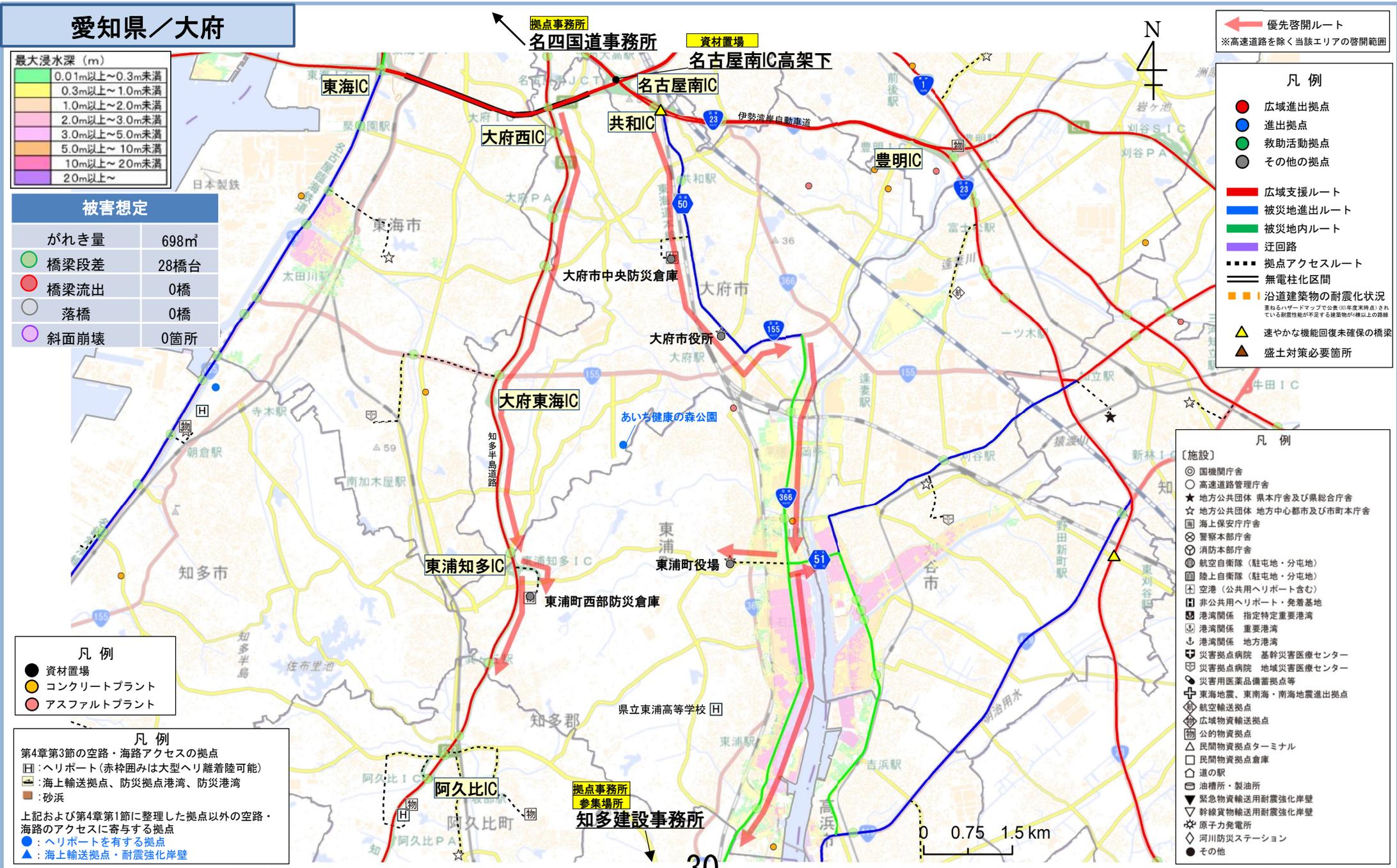
注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図



注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図



注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／半田

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満	2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満	5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満	20m以上～

被害想定	
がれき量	626㎡
橋梁段差	44橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
異なるハザードマップで公表(05年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物が棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 【施設】
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊖ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ⊖ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊖ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊖ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊖ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊖ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊖ 港湾関係 重要港湾
  - ⊖ 港湾関係 地方港湾
  - ⊖ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊖ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊖ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊖ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊖ 航空輸送拠点
  - ⊖ 広域物資輸送拠点
  - ⊖ 公的物資拠点
  - ⊖ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊖ 民間物資拠点倉庫
  - ⊖ 道の駅
  - ⊖ 油槽所・製油所
  - ⊖ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊖ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊖ 原子力発電所
  - ⊖ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊖ :ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊖ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁

- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／武豊

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	537m <sup>3</sup>
橋梁段差	18橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所



●	資材置場
○	コンクリートプラント
○	アスファルトプラント

第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点	
☐	：ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
☐	：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
■	：砂浜
上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点	
●	：ヘリポートを有する拠点
▲	：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

◎	国機関庁舎
○	高速道路管理庁舎
★	地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆	地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
⊕	海上保安庁庁舎
⊗	警察本部庁舎
⊙	消防本部庁舎
⊕	航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
⊕	陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
⊕	空港 (公共用ヘリポート含む)
⊕	非公共用ヘリポート・発着基地
⊕	港湾関係 指定特定重要港湾
⊕	港湾関係 重要港湾
⊕	港湾関係 地方港湾
⊕	災害拠点病院 基幹災害医療センター
⊕	災害拠点病院 地域災害医療センター
⊕	災害用医薬品備蓄拠点等
⊕	東海地震・東南海・南海地震進出拠点
⊕	航空輸送拠点
⊕	広域物資輸送拠点
⊕	公的物資拠点
⊕	民間物資拠点ターミナル
⊕	民間物資拠点倉庫
⊕	道の駅
⊕	油槽所・製油所
▼	緊急物資輸送用耐震強化岸壁
▼	幹線物資輸送用耐震強化岸壁
⊕	原子力発電所
⊕	河川防災ステーション
●	その他

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／美浜

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	1,619㎡
橋梁段差	10橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	1箇所

● 資材置場
● コンクリートプラント
● アスファルトプラント

第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
☒ :ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
☒ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
■ :砂浜
上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
● :ヘリポートを有する拠点
▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

● 広域進出拠点
● 進出拠点
● 救助活動拠点
● その他の拠点
— 広域支援ルート
— 被災地進出ルート
— 被災地内ルート
— 迂回路
— 拠点アクセスルート
— 無電柱化区間
■ 沿道建築物の耐震化状況 重ねるハザードマップで公表(05年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物が4棟以上の路線
▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
▲ 盛土対策必要箇所

〔施設〕
◎ 国機関庁舎
○ 高速道路管理庁舎
★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
⊗ 海上保安庁庁舎
⊗ 警察本部庁舎
⊗ 消防本部庁舎
⊗ 航空自衛隊(駐屯地・分屯地)
⊗ 陸上自衛隊(駐屯地・分屯地)
⊗ 空港(公共用ヘリポート含む)
⊗ 非公共用ヘリポート・発着基地
⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾
⊗ 港湾関係 重要港湾
⊗ 港湾関係 地方港湾
⊗ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター
⊗ 災害用医薬品備蓄拠点等
⊗ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
⊗ 航空輸送拠点
⊗ 広域物資輸送拠点
⊗ 公的物資拠点
⊗ 民間物資拠点ターミナル
⊗ 民間物資拠点倉庫
⊗ 道の駅
⊗ 油槽所・製油所
⊗ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
⊗ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
⊗ 原子力発電所
⊗ 河川防災ステーション
● その他

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／南知多

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	4,371㎡
橋梁段差	8橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	6箇所



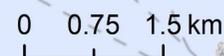
優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(05年度実施)されている耐震性が不足する建築物が4棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊕ :ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁



注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／常滑

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	97m <sup>3</sup>
橋梁段差	12橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	1箇所

● 資材置場
● コンクリートプラント
● アスファルトプラント

第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
Ⓜ：ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
Ⓜ：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
■：砂浜
上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
●：ヘリポートを有する拠点
▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

● 広域進出拠点
● 進出拠点
● 救助活動拠点
● その他の拠点
— 広域支援ルート
— 被災地進出ルート
— 被災地内ルート
— 迂回路
— 拠点アクセスルート
— 無電柱化区間
■ 沿道建築物の耐震化状況 異なるハザードマップで公表(05年度実施点)されている耐震性能が不足する建築物が4棟以上の路線
▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
▲ 盛土対策必要箇所

◎ 国機関庁舎
○ 高速道路管理庁舎
★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
Ⓜ 海上保安庁庁舎
Ⓜ 警察本部庁舎
Ⓜ 消防本部庁舎
Ⓜ 航空自衛隊(駐屯地・分屯地)
Ⓜ 陸上自衛隊(駐屯地・分屯地)
Ⓜ 空港(公共用ヘリポート含む)
Ⓜ 非公共用ヘリポート・発着基地
Ⓜ 港湾関係 指定特定重要港湾
Ⓜ 港湾関係 重要港湾
Ⓜ 港湾関係 地方港湾
Ⓜ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
Ⓜ 災害拠点病院 地域災害医療センター
Ⓜ 災害用医薬品備蓄拠点等
Ⓜ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
Ⓜ 航空輸送拠点
Ⓜ 広域物資輸送拠点
Ⓜ 公的物資拠点
Ⓜ 民間物資拠点ターミナル
Ⓜ 民間物資拠点倉庫
Ⓜ 道の駅
Ⓜ 油槽所・製油所
Ⓜ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
Ⓜ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
Ⓜ 原子力発電所
Ⓜ 河川防災ステーション
● その他

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図



## 愛知県／知多

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満	2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満	5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満	20m以上～

被害想定	
がれき量	113m <sup>3</sup>
橋梁段差	60橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ☐: ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ☐: 海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - : 砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲: 海上輸送拠点・耐震強化岸壁

優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
異なるハザードマップで公表(05年度実施済)されている耐震性能が不足する建築物が1棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊗ 消防本部庁舎
  - ⊗ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／名古屋沿岸部

最大浸水深 (m)	
0.01m以上～0.3m未満	0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満	2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満	5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満	20m以上～

被害想定	
がれき量	2,212m <sup>3</sup>
橋梁段差	83橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

**凡例**  
 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点  
 □：ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)  
 ■：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾  
 ■：砂浜  
 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点  
 ●：ヘリポートを有する拠点  
 ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

**凡例**  
 ● 資材置場  
 ● コンクリートプラント  
 ● アスファルトプラント



優先啓開ルート  
 ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例**
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
異なるハザードマップで公表(05年度実施)されている耐震性能が不足する建築物が4棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 〔施設〕**
- 凡例**
- ◎ 国機関庁舎
  - ◎ 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ◎ 海上保安庁庁舎
  - ◎ 警察本部庁舎
  - ◎ 消防本部庁舎
  - ◎ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ◎ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ◎ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ◎ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ◎ 港湾関係 重要港湾
  - ◎ 港湾関係 地方港湾
  - ◎ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ◎ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ◎ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ◎ 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
  - ◎ 航空輸送拠点
  - ◎ 広域物資輸送拠点
  - ◎ 公的物資拠点
  - △ 民間物資拠点ターミナル
  - △ 民間物資拠点倉庫
  - ◎ 道の駅
  - ◎ 油槽所・製油所
  - ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▼ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ◎ 原子力発電所
  - ◇ 河川防災ステーション
  - その他

注)被害量、必要資材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／弥富

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	335㎡
橋梁段差	58橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

● 資材置場
● コンクリートプラント
● アスファルトプラント

**凡例**  
 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点  
 ㊦：ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)  
 ㊧：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾  
 ㊨：砂浜  
 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点  
 ●：ヘリポートを有する拠点  
 ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁



優先啓開ルート  
 ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例**
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
異なるハザードマップで公表 (05年度末時点) されている耐震性能が不足する建築物が棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例**
- 【施設】
- 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ★ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊕ 警察本部庁舎
  - ⊕ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資輸送拠点
  - ⊕ 民間物資輸送ターミナル
  - ⊕ 民間物資輸送倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／一宮

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	0m <sup>3</sup>
橋梁段差	20橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

●	資材置場
○	コンクリートプラント
○	アスファルトプラント

□	第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
□	ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
□	海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
■	砂浜
上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点	
●	ヘリポートを有する拠点
▲	海上輸送拠点・耐震強化岸壁



→	優先啓開ルート
※	※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲
●	広域進出拠点
●	進出拠点
●	救助活動拠点
●	その他の拠点
→	広域支援ルート
→	被災地進出ルート
→	被災地内ルート
→	迂回路
→	拠点アクセスルート
→	無電柱化区間
■	沿道建築物の耐震化状況
▲	速やかな機能回復未確保の橋梁
▲	盛土対策必要箇所

◎	国機関庁舎
○	高速道路管理庁舎
★	地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆	地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
⊗	海上保安庁庁舎
⊗	警察本部庁舎
⊗	消防本部庁舎
⊗	航空自衛隊(駐屯地・分屯地)
⊗	陸上自衛隊(駐屯地・分屯地)
⊗	空港(公共用ヘリポート含む)
⊗	非公共用ヘリポート・発着基地
⊗	港湾関係 指定特定重要港湾
⊗	港湾関係 重要港湾
⊗	港湾関係 地方港湾
⊗	災害拠点病院 基幹災害医療センター
⊗	災害拠点病院 地域災害医療センター
⊗	災害用医薬品備蓄拠点等
⊗	東海地震、東南海・南海地震進出拠点
⊗	航空輸送拠点
⊗	広域物資輸送拠点
⊗	公的物資拠点
⊗	民間物資拠点ターミナル
⊗	民間物資拠点倉庫
⊗	道の駅
⊗	油槽所・製油所
⊗	緊急物資輸送用耐震強化岸壁
⊗	幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
⊗	原子力発電所
⊗	河川防災ステーション
●	その他

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／江南

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	0m <sup>3</sup>
橋梁段差	15橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

● 資材置場
● コンクリートプラント
● アスファルトプラント

第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
日：ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
■：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
■：砂浜
上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
●：ヘリポートを有する拠点
▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

● 広域進出拠点
● 進出拠点
● 救助活動拠点
● その他の拠点
— 広域支援ルート
— 被災地進出ルート
— 被災地内ルート
— 迂回路
— 拠点アクセスルート
— 無電柱化区間
■ 沿道建築物の耐震化状況 異なるハザードマップで公表(05年度実施点)されている耐震性能が不足する建築物が4棟以上の路線
▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
▲ 盛土対策必要箇所

○ 国機関庁舎
○ 高速道路管理庁舎
★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
⊕ 海上保安庁庁舎
⊗ 警察本庁舎
⊕ 消防本庁舎
⊕ 航空自衛隊(駐屯地・分屯地)
⊕ 陸上自衛隊(駐屯地・分屯地)
⊕ 空港(公共用ヘリポート含む)
⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
⊕ 港湾関係 指定重要港湾
⊕ 港湾関係 重要港湾
⊕ 港湾関係 地方港湾
⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
⊕ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
⊕ 航空輸送拠点
⊕ 広域物資輸送拠点
⊕ 公的物資拠点
⊕ 民間物資拠点ターミナル
⊕ 民間物資拠点倉庫
⊕ 道の駅
⊕ 油槽所・製油所
⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
⊕ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
⊕ 原子力発電所
⊕ 河川防災ステーション
● その他

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／春日井

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	0m <sup>3</sup>
橋梁段差	4橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

● 資材置場
● コンクリートプラント
● アスファルトプラント

○ 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
□ 〇: ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
□ 〇: 海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
□ 〇: 砂浜
● 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
● : ヘリポートを有する拠点
▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁

優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

● 広域進出拠点
● 進出拠点
● 救助活動拠点
● その他の拠点
— 広域支援ルート
— 被災地進出ルート
— 被災地内ルート
— 迂回路
— 拠点アクセスルート
— 無電柱化区間
■ 沿道建築物の耐震化状況 <small>重ねるハザードマップで公表(05年度実施)されている耐震性能が不足する建築物が4棟以上の路線</small>
▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
▲ 盛土対策必要箇所

○ 国機関庁舎
○ 高速道路管理庁舎
★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
★ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
⊕ 海上保安庁庁舎
⊕ 警察本部庁舎
⊕ 消防本部庁舎
⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
⊕ 港湾関係 重要港湾
⊕ 港湾関係 地方港湾
⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
⊕ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
⊕ 航空輸送拠点
⊕ 広域物資輸送拠点
⊕ 公的物資拠点
⊕ 民間物資拠点ターミナル
⊕ 民間物資拠点倉庫
□ 道の駅
□ 油槽所・製油所
▽ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
▽ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
◇ 原子力発電所
◇ 河川防災ステーション
● その他



注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

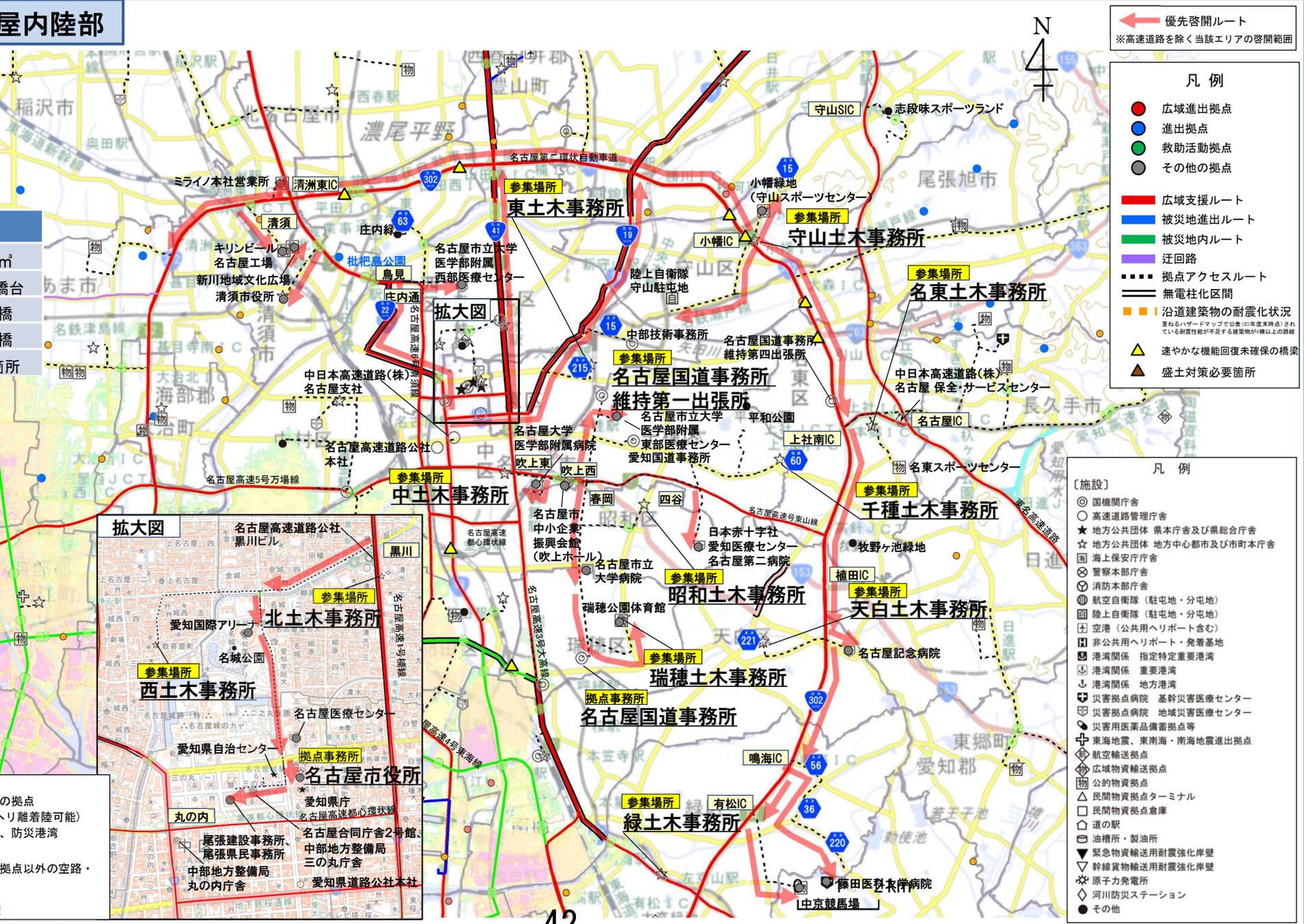
## 愛知県／名古屋内陸部

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	0m <sup>3</sup>
橋梁段差	34橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

● 資材置場
● コンクリートプラント
● アスファルトプラント

第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
☐：ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
☐：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
■：砂浜
上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
●：ヘリポートを有する拠点
▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

● 広域進出拠点
● 進出拠点
● 救助活動拠点
● その他の拠点
— 広域支援ルート
— 被災地進出ルート
— 被災地内ルート
— 迂回路
— 拠点アクセスルート
— 無電柱化区間
▲ 沿道建築物の耐震化状況 異なるハザードマップで公表 (05年度実施点) されている耐震性能が不足する建築物が1棟以上の路線
▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
▲ 盛土対策必要箇所

○ 国機関庁舎
○ 高速道路管理庁舎
★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
⊕ 海上保安庁庁舎
⊕ 警察本部庁舎
⊕ 消防本部庁舎
⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
⊕ 港湾関係 重要港湾
⊕ 港湾関係 地方港湾
⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
⊕ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
⊕ 航空輸送拠点
⊕ 広域物資輸送拠点
⊕ 公的物資輸送拠点
⊕ 民間物資輸送ターミナル
⊕ 民間物資輸送倉庫
⊕ 道の駅
⊕ 油槽所・製油所
▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
▼ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
⊕ 原子力発電所
⊕ 河川防災ステーション
● その他

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。



# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／豊田2

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

● 資材置場
● コンクリートプラント
● アスファルトプラント

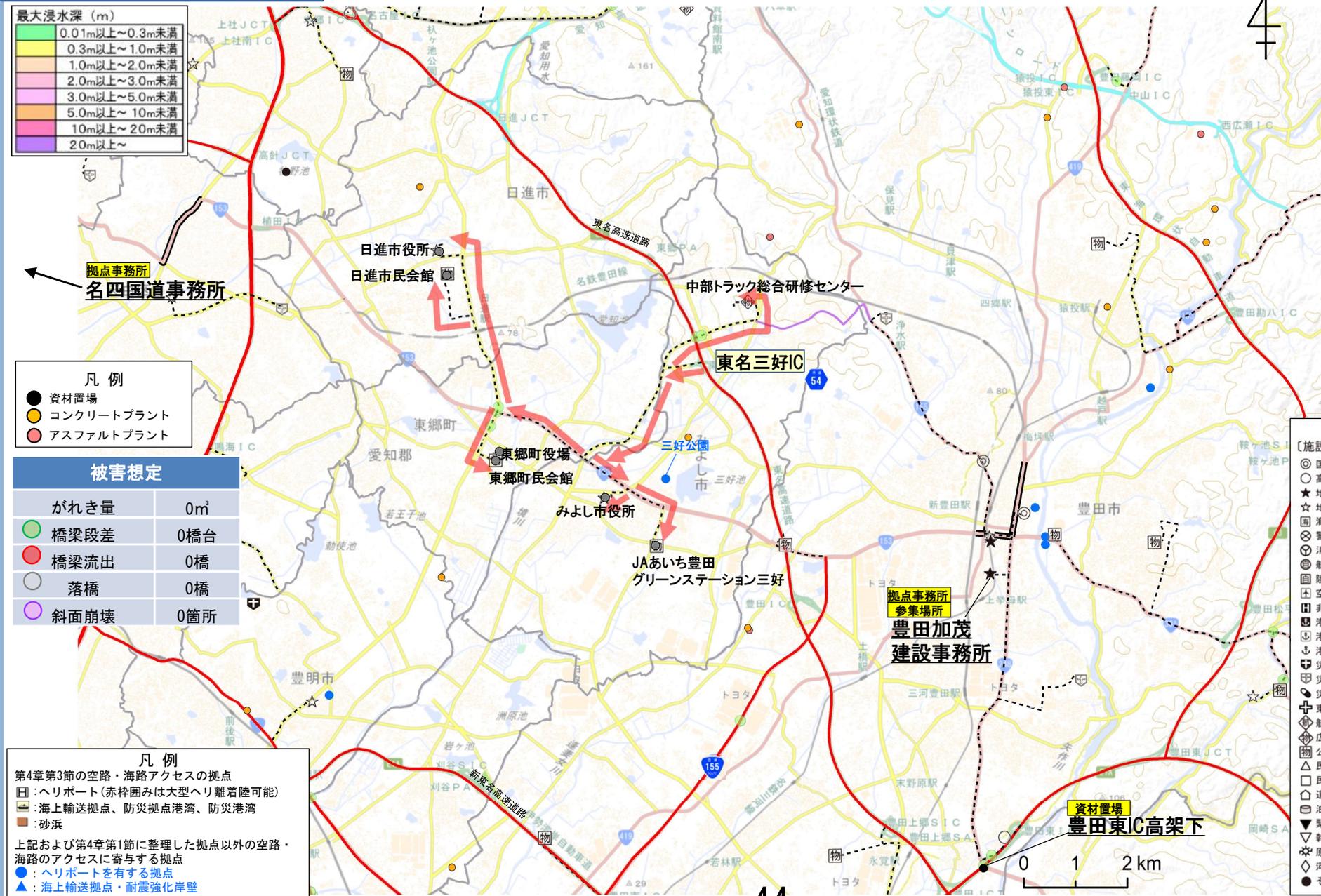
がれき量	0m <sup>3</sup>
橋梁段差	0橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
☐:ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
☐:海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
☐:砂浜
上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
●:ヘリポートを有する拠点
▲:海上輸送拠点・耐震強化岸壁

優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

● 広域進出拠点
● 進出拠点
● 救助活動拠点
● その他の拠点
— 広域支援ルート
— 被災地進出ルート
— 被災地内ルート
— 迂回路
--- 拠点アクセスルート
— 無電柱化区間
■ 沿道建築物の耐震化状況 <small>異なるハザードマップで公表(05年度実施)されている耐震性能が不足する建築物が4棟以上の路線</small>
▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
▲ 盛土対策必要箇所

〔施設〕
◎ 国機関庁舎
○ 高速道路管理庁舎
★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
⊗ 海上保安庁庁舎
⊗ 警察本部庁舎
⊗ 消防本部庁舎
⊗ 航空自衛隊(駐屯地・分屯地)
⊗ 陸上自衛隊(駐屯地・分屯地)
⊗ 空港(公共用ヘリポート含む)
⊗ 非公共用ヘリポート・発着基地
⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾
⊗ 港湾関係 重要港湾
⊗ 港湾関係 地方港湾
⊗ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター
⊗ 災害用医薬品備蓄拠点等
⊗ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
⊗ 航空輸送拠点
⊗ 広域物資輸送拠点
⊗ 公的物資拠点
⊗ 民間物資拠点ターミナル
⊗ 民間物資拠点倉庫
⊗ 道の駅
⊗ 油槽所・製油所
⊗ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
⊗ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
⊗ 原子力発電所
⊗ 河川防災ステーション
● その他



注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／岡崎

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

● 資材置場
● コンクリートプラント
● アスファルトプラント

がれき量	0m <sup>3</sup>
橋梁段差	45橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
☐:ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
☐:海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
■:砂浜
上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
●:ヘリポートを有する拠点
▲:海上輸送拠点・耐震強化岸壁



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

● 広域進出拠点
● 進出拠点
● 救助活動拠点
● その他の拠点
— 広域支援ルート
— 被災地進出ルート
— 被災地内ルート
— 迂回路
— 拠点アクセスルート
— 無電柱化区間
■ 沿道建築物の耐震化状況 重ねるハザードマップで公表(05年度実施点)されている耐震性能が不足する建築物が4棟以上の路線
▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
▲ 盛土対策必要箇所

〔施設〕
◎ 国機関庁舎
○ 高速道路管理庁舎
★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
⊕ 海上保安庁庁舎
⊕ 警察本部庁舎
⊕ 消防本部庁舎
⊕ 航空自衛隊(駐屯地・分屯地)
⊕ 陸上自衛隊(駐屯地・分屯地)
⊕ 空港(公共用ヘリポート含む)
⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
⊕ 港湾関係 重要港湾
⊕ 港湾関係 地方港湾
⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
⊕ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
⊕ 航空輸送拠点
⊕ 広域物資輸送拠点
⊕ 公的物資拠点
⊕ 民間物資拠点ターミナル
⊕ 民間物資拠点倉庫
⊕ 道の駅
⊕ 油槽所・製油所
⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
⊕ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
⊕ 原子力発電所
⊕ 河川防災ステーション
● その他



注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# 中部道路啓開計画 具体計画図

## 愛知県／新城

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

がれき量	0m <sup>3</sup>
橋梁段差	0橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所

● 資材置場
● コンクリートプラント
● アスファルトプラント

● 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
□ :ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
■ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
■ :砂浜
● :上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
● :ヘリポートを有する拠点
▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁



優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

● 広域進出拠点
● 進出拠点
● 救助活動拠点
● その他の拠点
— 広域支援ルート
— 被災地進出ルート
— 被災地内ルート
— 迂回路
— 拠点アクセスルート
— 無電柱化区間
■ 沿道建築物の耐震化状況 異なるハザードマップで公表(05年度実施点)されている耐震性能が不足する建築物が4棟以上の路線
▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
▲ 盛土対策必要箇所

○ 国機関庁舎
○ 高速道路管理庁舎
★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
⊗ 海上保安庁庁舎
⊗ 警察本部庁舎
⊗ 消防本部庁舎
⊗ 航空自衛隊(駐屯地・分屯地)
⊗ 陸上自衛隊(駐屯地・分屯地)
⊗ 空港(公共用ヘリポート含む)
⊗ 非公共用ヘリポート・発着基地
⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾
⊗ 港湾関係 重要港湾
⊗ 港湾関係 地方港湾
⊗ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター
⊗ 災害用医薬品備蓄拠点等
⊗ 東海地震、東南海、南海地震進出拠点
⊗ 航空輸送拠点
⊗ 広域物資輸送拠点
⊗ 公的物資拠点
⊗ 民間物資拠点ターミナル
⊗ 民間物資拠点倉庫
⊗ 道の駅
⊗ 油槽所・製油所
▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
▼ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
⊗ 原子力発電所
◇ 河川防災ステーション
● その他

注)被害量、必要資機材量は、現在想定される条件のもとに算定したものであり、実際の発災時には異なることがある。

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート の具体計画

## 三重県／桑名

**凡例**

- 広域進出拠点
- 進出拠点
- 救助活動拠点
- その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間
- 沿道建築物の耐震化状況
- ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
- ▲ 盛土対策必要箇所

**最大浸水深 (m)**

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

**凡例**

第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点

- ☒ :ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
- ☒ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
- ☒ :砂浜

上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点

- :ヘリポートを有する拠点
- ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁

← 優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

**凡例**

**【施設】**

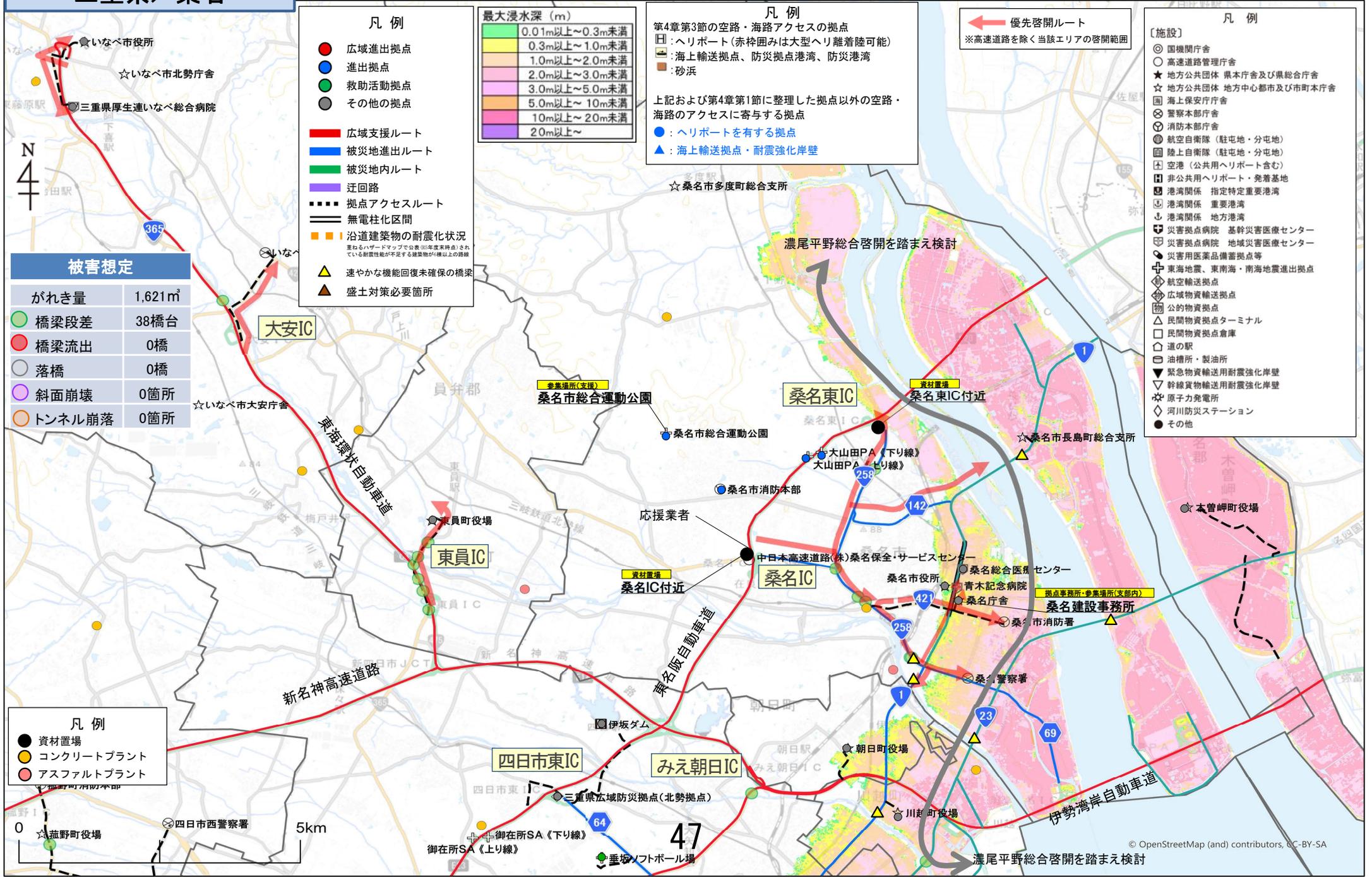
- ☒ 圏関開庁舎
- 高速道路管理庁舎
- ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
- ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
- ☒ 海上保安庁庁舎
- ☒ 警察本部庁舎
- ☒ 消防本部庁舎
- ☒ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
- ☒ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
- ☒ 空港 (公共用ヘリポート含む)
- ☒ 非公共用ヘリポート・発着基地
- ☒ 港湾関係 指定特定重要港湾
- ☒ 港湾関係 重要港湾
- ☒ 港湾関係 地方港湾
- ☒ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
- ☒ 災害拠点病院 地域災害医療センター
- ☒ 災害用医薬品備蓄拠点等
- ☒ 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
- ☒ 航空輸送拠点
- ☒ 広域物資輸送拠点
- ☒ 公的物資拠点
- △ 民間物資拠点ターミナル
- ☒ 民間物資拠点倉庫
- ☒ 道の駅
- ☒ 油槽所・製油所
- ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
- ▼ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
- ☒ 原子力発電所
- ☒ 河川防災ステーション
- その他

**被害想定**

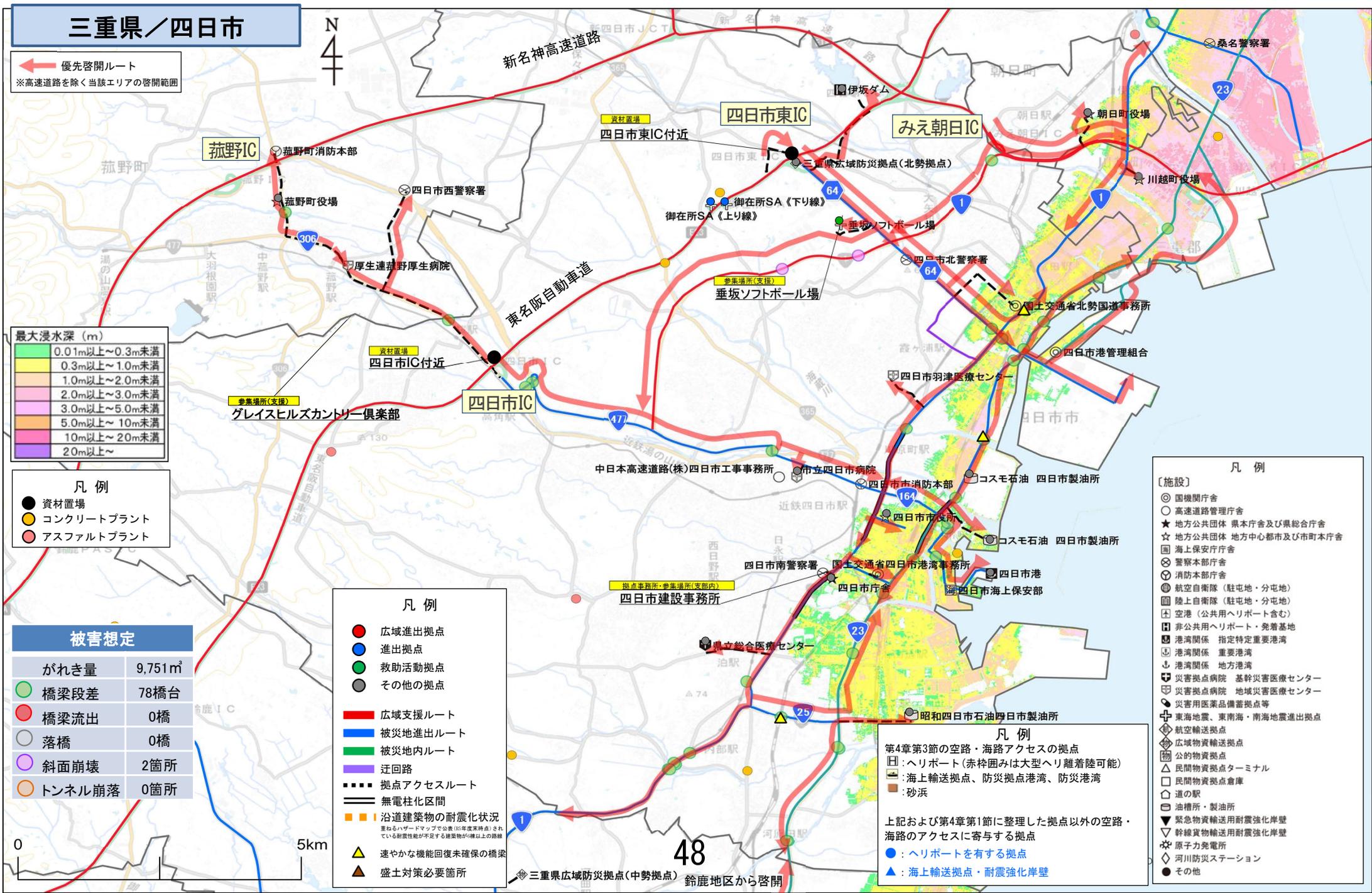
がれき量	1,621m <sup>2</sup>
橋梁段差	38橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所
トンネル崩落	0箇所

**凡例**

- 資材置場
- コンクリートプラント
- アスファルトプラント
- ▲ 菟野町役場



# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画



## 三重県／四日市

優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

最大浸水深 (m)

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

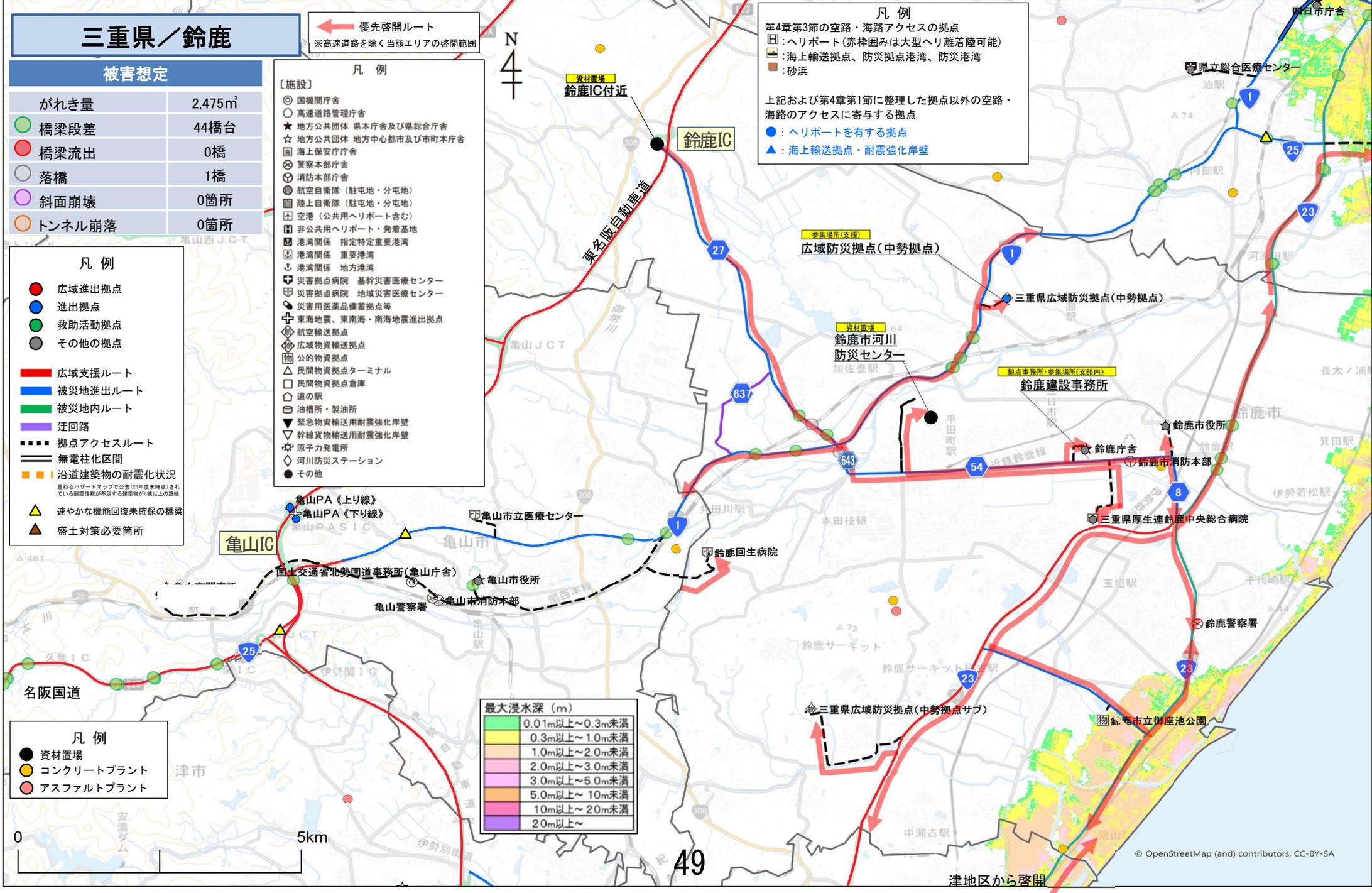
### 被害想定

がれき量	9,751m <sup>3</sup>
橋梁段差	78橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	2箇所
トンネル崩落	0箇所

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重石のハザードマップ公表(10年建築時)とされている耐震性能が不足する建築物が緑色の線路
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 【施設】
- ◎ 国機関庁舎
  - ◎ 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊙ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ✈ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▽ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ◇ 河川防災ステーション
  - その他
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- 凡例
- ⊕ : ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕ : 海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - ▲ : 砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート の具体計画



## 三重県／鈴鹿

**被害想定**

がれき量	2,475㎡
橋梁段差	44橋台
橋梁流出	0橋
落橋	1橋
斜面崩壊	0箇所
トンネル崩落	0箇所

優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例**
- [施設]
- 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - △ 民間物資拠点ターミナル
  - 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ▽ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▽ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例**
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊕ : ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕ : 海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - : 砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁

- 凡例**
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
- 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
■ 異なるハザードマップで公表 (沿岸浸水想定) され  
ている耐震性能が不足する建築物が1棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

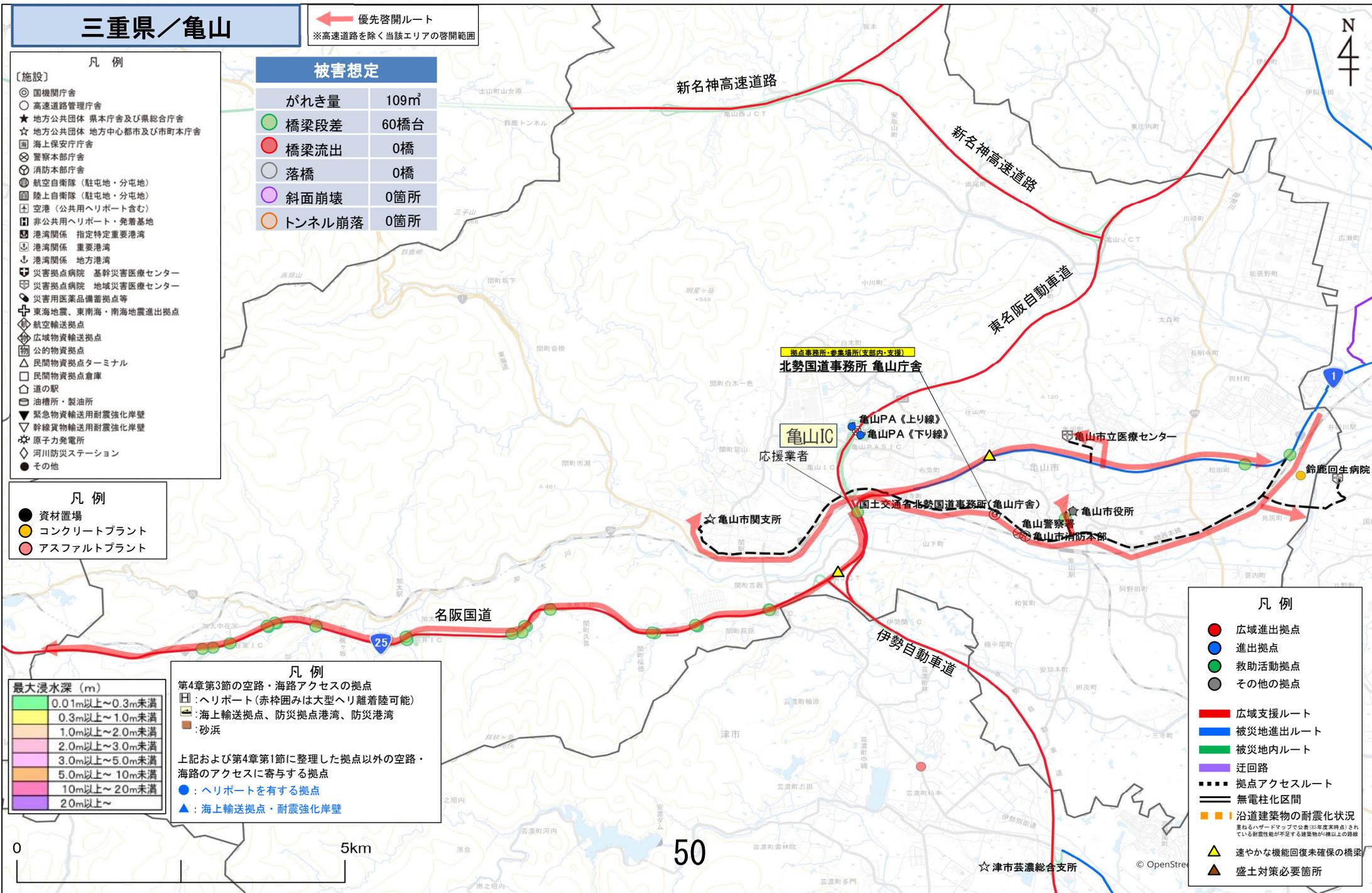
**最大浸水深 (m)**

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

- 凡例**
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

津地区から啓開

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画



## 三重県／亀山

← 優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例**
- 〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊖ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊖ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊖ 港湾関係 重要港湾
  - ⊖ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊖ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊖ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊖ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

**被害想定**

がれき量	109m <sup>3</sup>
橋梁段差	60橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所
トンネル崩落	0箇所

- 凡例**
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

**凡例**

最大浸水深 (m)

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

- 凡例**
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊕ :ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁

- 凡例**
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況 (重ねるハザードマップで公表(沿岸浸水時点)されている耐震性能が不足する建築物が5棟以上の路線)
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

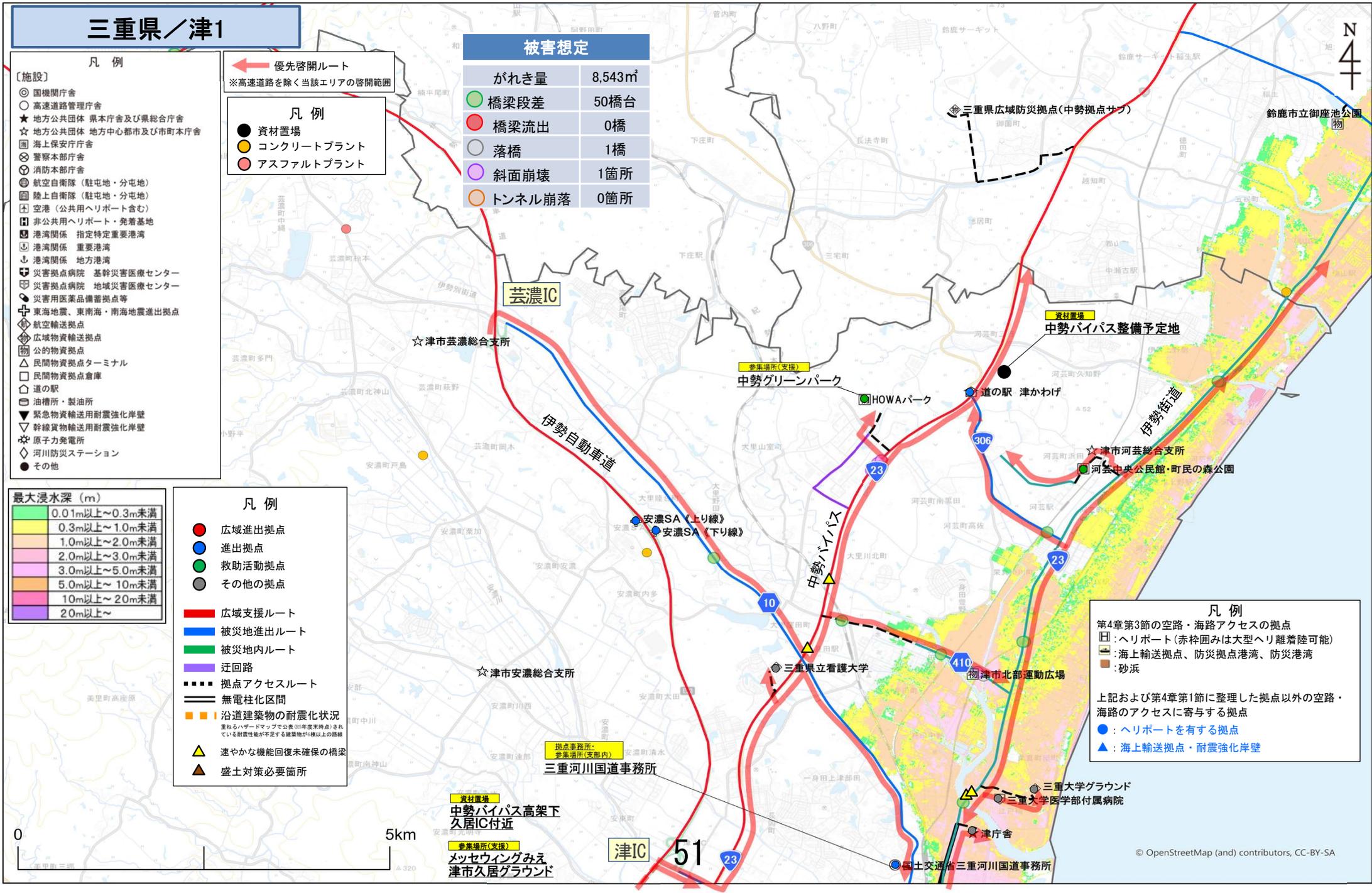


50

© OpenStreetMap

☆ 津市芸濃総合支所

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート of 具体計画



## 三重県/津1

- 凡例**
- 〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例**
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

**被害想定**

がれき量	8,543m <sup>3</sup>
橋梁段差	50橋台
橋梁流出	0橋
落橋	1橋
斜面崩壊	1箇所
トンネル崩落	0箇所

**最大浸水深 (m)**

0.01m以上~0.3m未満
0.3m以上~1.0m未満
1.0m以上~2.0m未満
2.0m以上~3.0m未満
3.0m以上~5.0m未満
5.0m以上~10m未満
10m以上~20m未満
20m以上~

- 凡例**
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例**
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
  - ⊕:ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕:海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
  - 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
  - :ヘリポートを有する拠点
  - ▲:海上輸送拠点・耐震強化岸壁



# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 三重県／津2

- 凡例
- 〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震・東南海・南海地震震出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

被害想定

がれき量	8,543m <sup>3</sup>
橋梁段差	50橋台
橋梁流出	0橋
落橋	1橋
斜面崩壊	1箇所
トンネル崩落	0箇所

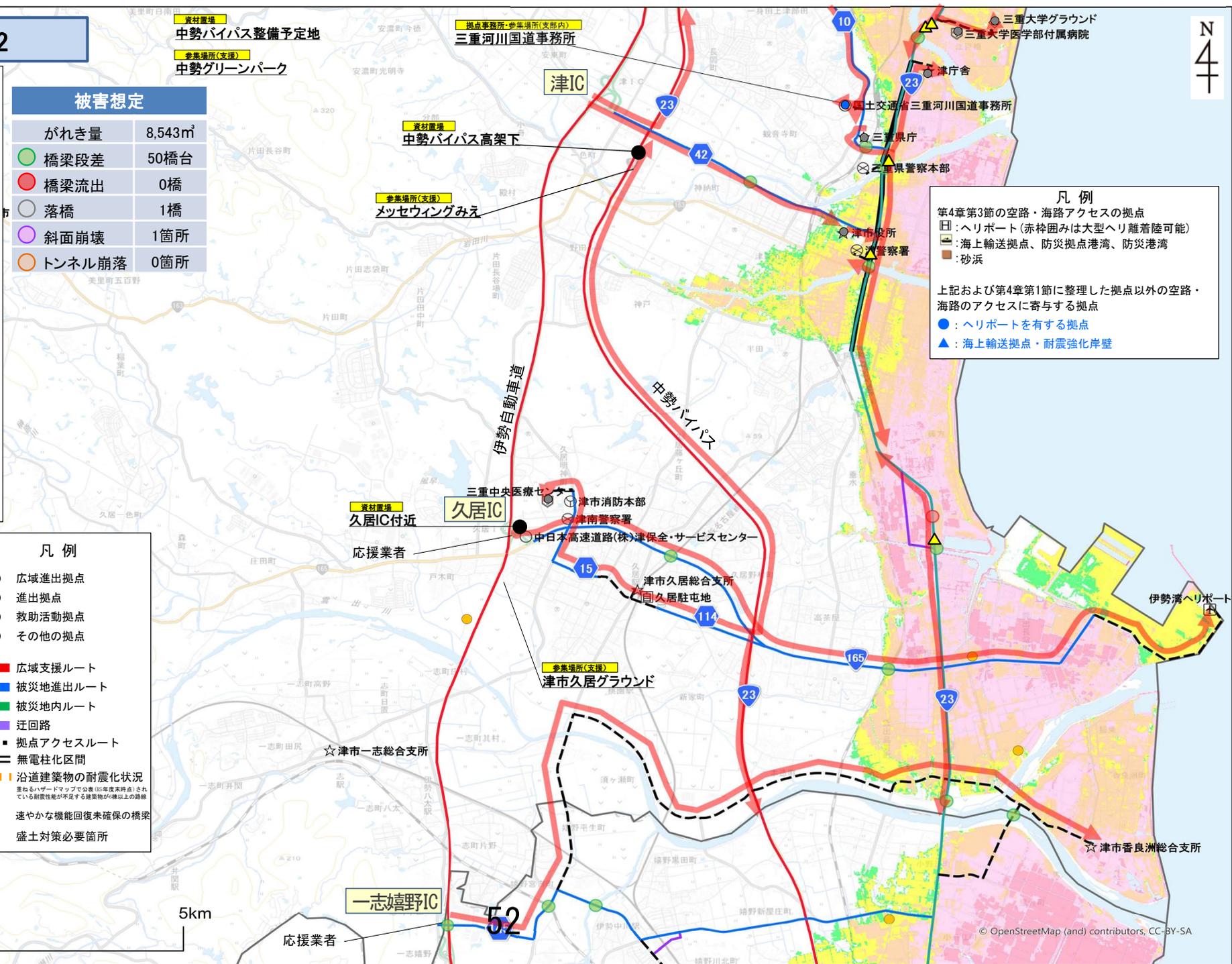
優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

最大浸水深 (m)

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

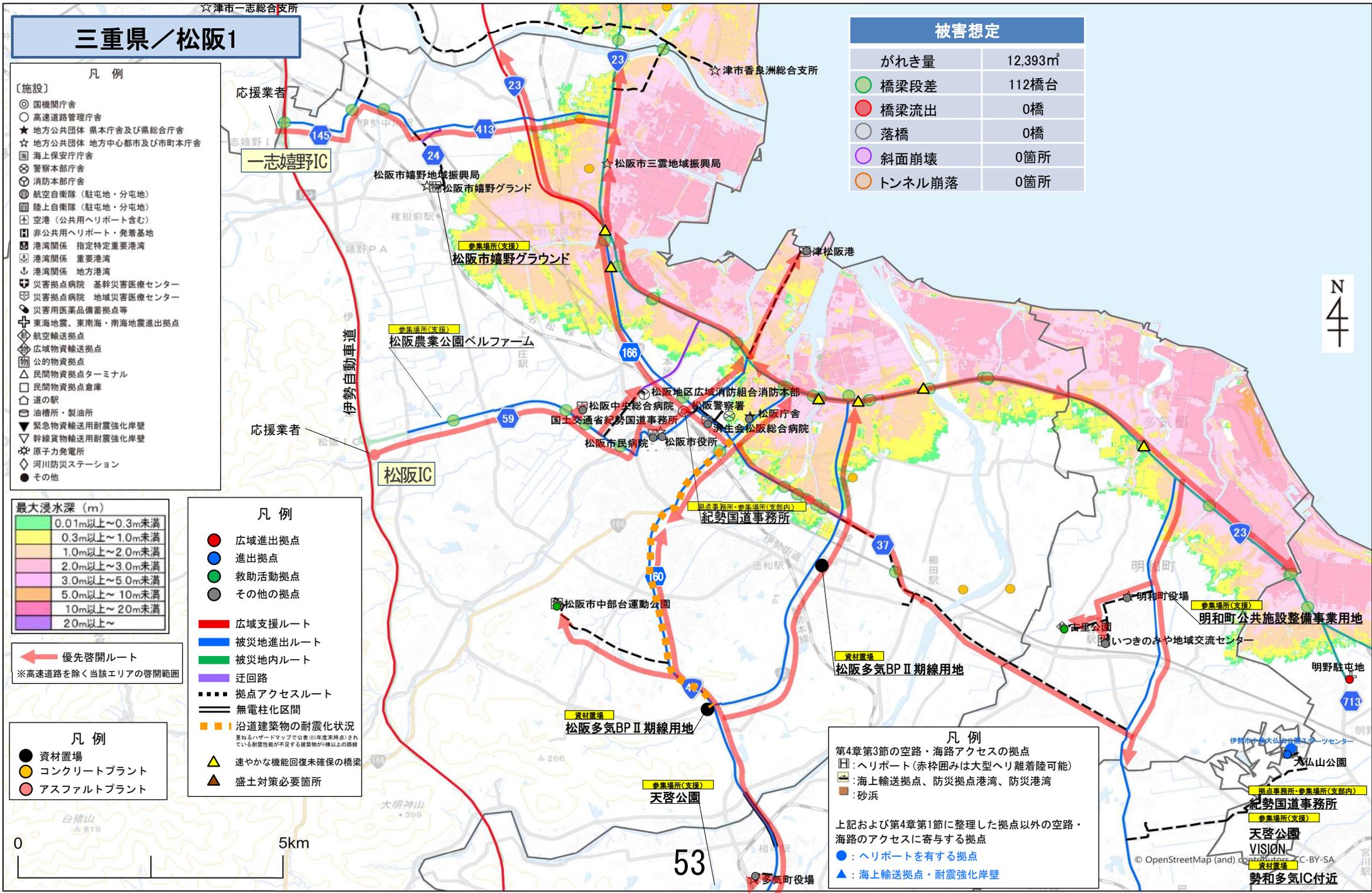
- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表 (10年度実施済) されている耐震性が不十分と判断される建築物が4棟以上の橋梁
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所



- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊕ : ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕ : 海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - : 砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画



## 三重県／松阪1

- 凡例
- 〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ✈ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊞ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ✈ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊞ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊞ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊞ 港湾関係 重要港湾
  - ⊞ 港湾関係 地方港湾
  - ⊞ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊞ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊞ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊞ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ✈ 航空輸送拠点
  - ⊞ 広域物資輸送拠点
  - ⊞ 公的物資拠点
  - △ 民間物資拠点ターミナル
  - 民間物資拠点倉庫
  - ⊞ 道の駅
  - ⊞ 油槽所・製油所
  - ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▽ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⚡ 原子力発電所
  - ◇ 河川防災ステーション
  - その他

最大浸水深 (m)

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
異なるカラーでマップ上で公表(年度毎実施)される耐震性能が不足する建築物が4棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

被害想定

がれき量	12,393m <sup>3</sup>
● 橋梁段差	112橋台
● 橋梁流出	0橋
○ 落橋	0橋
○ 斜面崩壊	0箇所
○ トンネル崩落	0箇所

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊞ : ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊞ : 海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - : 砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁



# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 三重県／松阪2

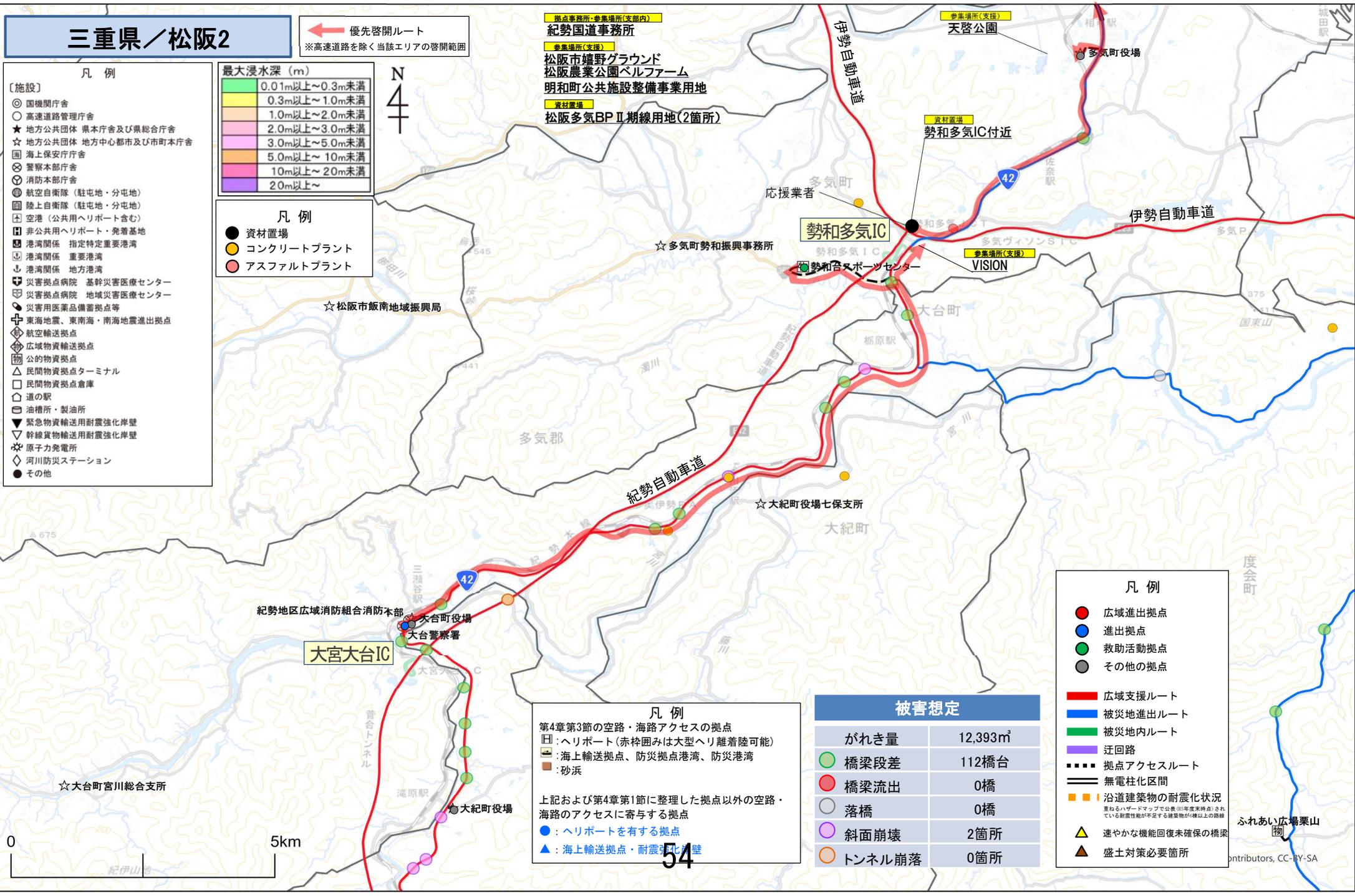
- 凡例
- 〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊖ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊖ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊖ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊖ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震、東南海、南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊕ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

最大浸水深 (m)

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲



- 拠点事務所・集積場(支管内)
- 紀勢国道事務所
- 集積場(支援)
- 松阪市嬉野グラウンド
- 松阪農業公園ベルファーム
- 明和町公共施設整備事業用地
- 資材置場
- 松阪多気BP II期線用地(2箇所)

### 被害想定

がれき量	12,393m <sup>3</sup>
橋梁段差	112橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	2箇所
トンネル崩落	0箇所

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
  - ⊕:ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕:海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - ⊕:砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲:海上輸送拠点・耐震強化岸壁

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(05年度末時点)されている耐震性が不足する建築物が(棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所



# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 三重県／伊勢1

- 凡例**
- 〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
  - ★ 高速道路管理庁舎
  - ▲ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町村本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ⊙ 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
  - ⊚ 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
  - ⊠ 空港（公共用ヘリポート含む）
  - ⊡ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊣ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊤ 港湾関係 重要港湾
  - ⊥ 港湾関係 地方港湾
  - ⊦ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊧ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊨ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊩ 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
  - ⊪ 航空輸送拠点
  - ⊫ 広域物資輸送拠点
  - ⊬ 公的物資拠点
  - ⊭ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊮ 民間物資拠点倉庫
  - ⊯ 道の駅
  - ⊰ 油槽所・製油所
  - ⊱ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊲ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊳ 原子力発電所
  - ⊴ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例**
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
- 広域支援ルート
- 被災地進出ルート
- 被災地内ルート
- 迂回路
- 拠点アクセスルート
- 無電柱化区間
- 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表（50年度度末時点）されている耐震性が不足する建築物が5棟以上の路線
- ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
- ▲ 盛土対策必要箇所

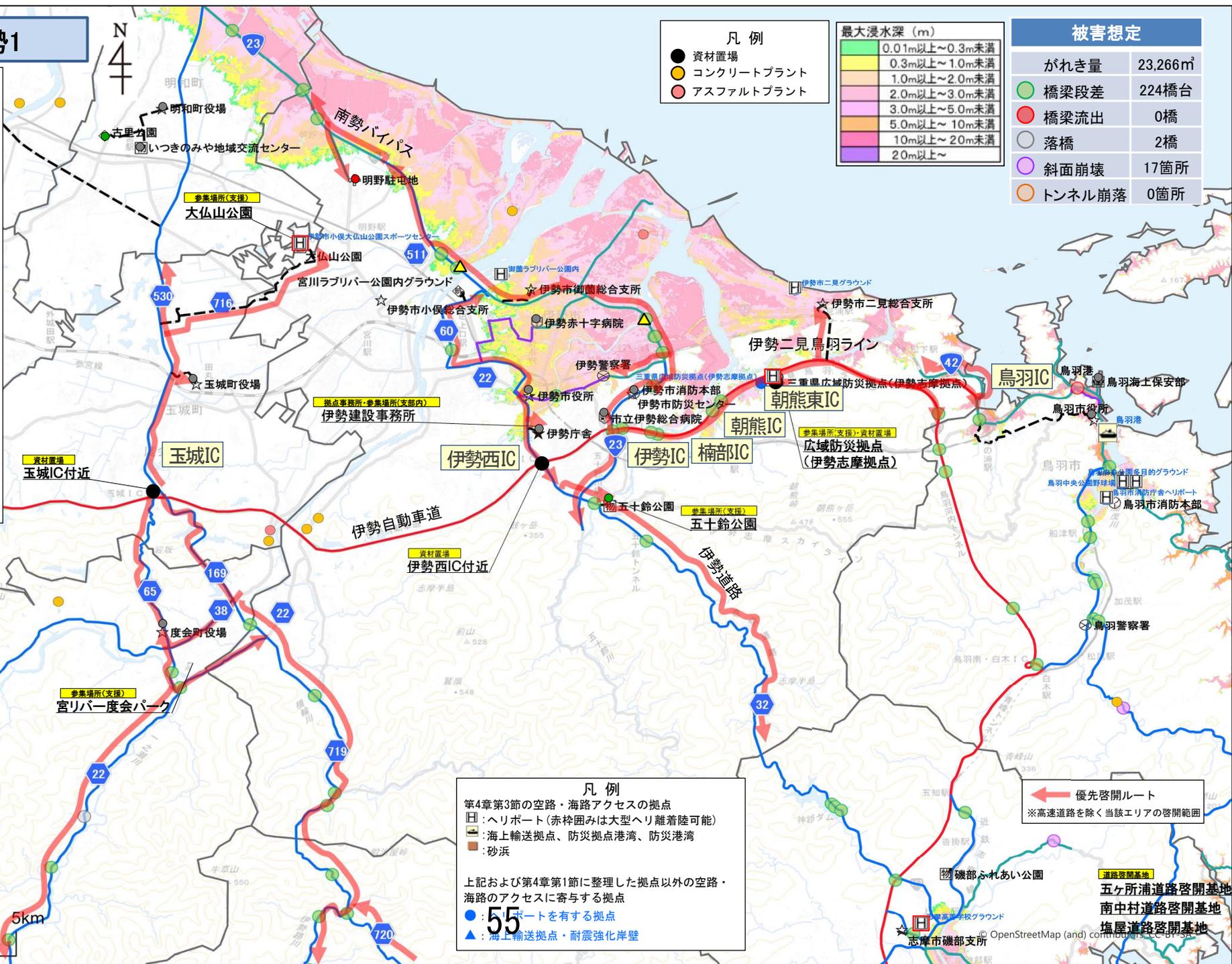
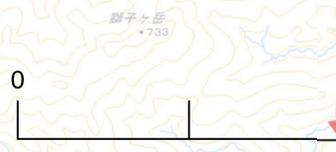
- 凡例**
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

**最大浸水深 (m)**

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

**被害想定**

がれき量	23,266㎡
橋梁段差	224橋台
橋梁流出	0橋
落橋	2橋
斜面崩壊	17箇所
トンネル崩落	0箇所

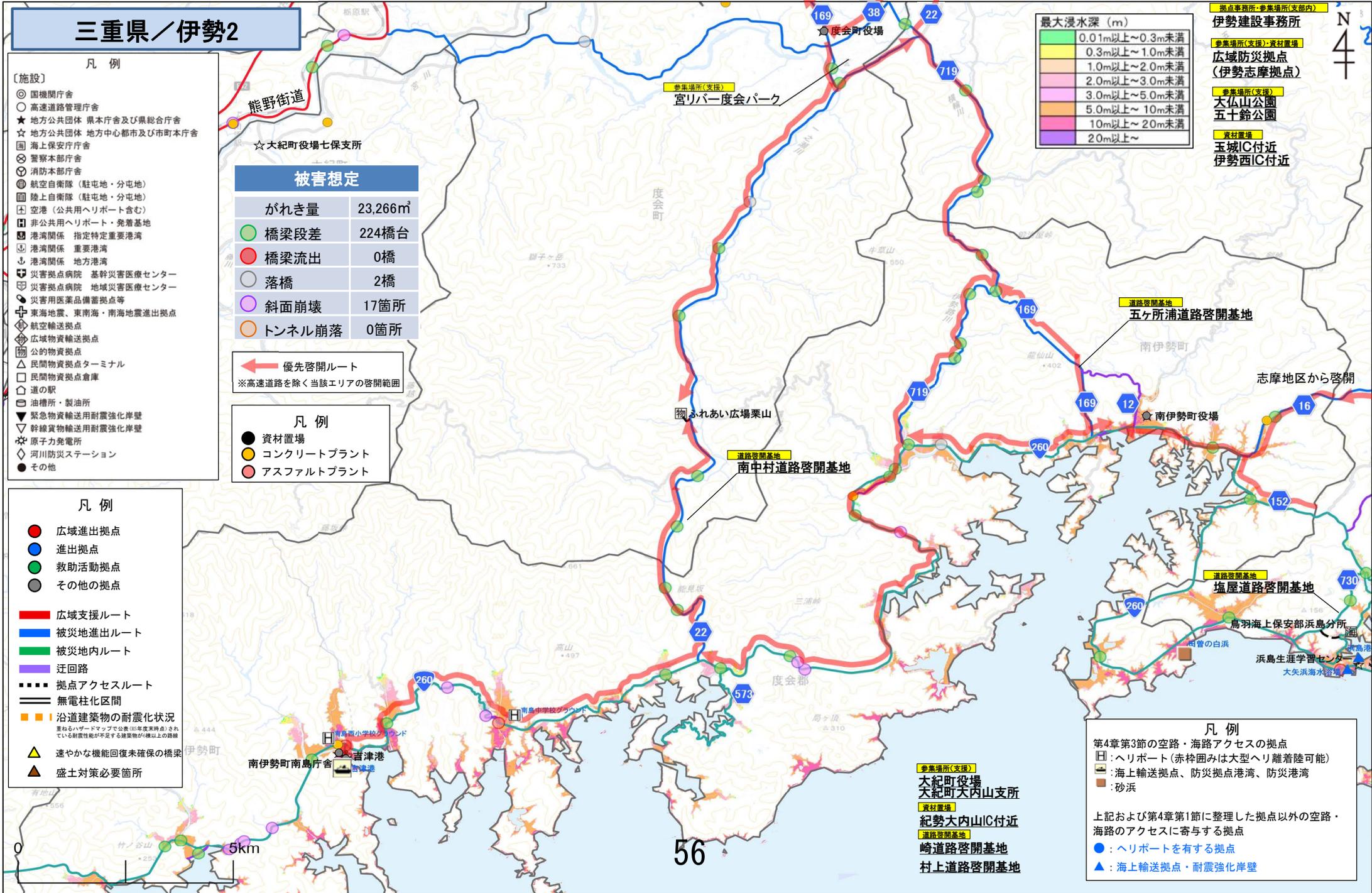


- 凡例**
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
  - ⊠：ヘリポート（赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能）
  - ⊣：海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - ：砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- ：ポートを有する拠点
  - ▲：海上輸送拠点・耐震強化岸壁

優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

道路啓開基地  
五ヶ所浦道路啓開基地  
南中村道路啓開基地  
塩屋道路啓開基地

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画



## 三重県／伊勢2

- 凡例**
- 【施設】
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊗ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本庁舎
  - ⊗ 消防本庁舎
  - ⊗ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊗ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 地方港湾
  - ⊗ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊗ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊗ 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
  - ⊗ 航空輸送拠点
  - ⊗ 広域物資輸送拠点
  - ⊗ 公的物資拠点
  - ⊗ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊗ 民間物資拠点倉庫
  - ⊗ 道の駅
  - ⊗ 油槽所・製油所
  - ⊗ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊗ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊗ 原子力発電所
  - ⊗ 河川防災ステーション
  - その他

**被害想定**

がれき量	23,266m <sup>3</sup>
橋梁段差	224橋台
橋梁流出	0橋
落橋	2橋
斜面崩壊	17箇所
トンネル崩落	0箇所

← 優先啓開ルート  
 ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 凡例**
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

- 凡例**
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(100年度度実施)されている耐震性が不足する建築物が5以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

**最大浸水深 (m)**

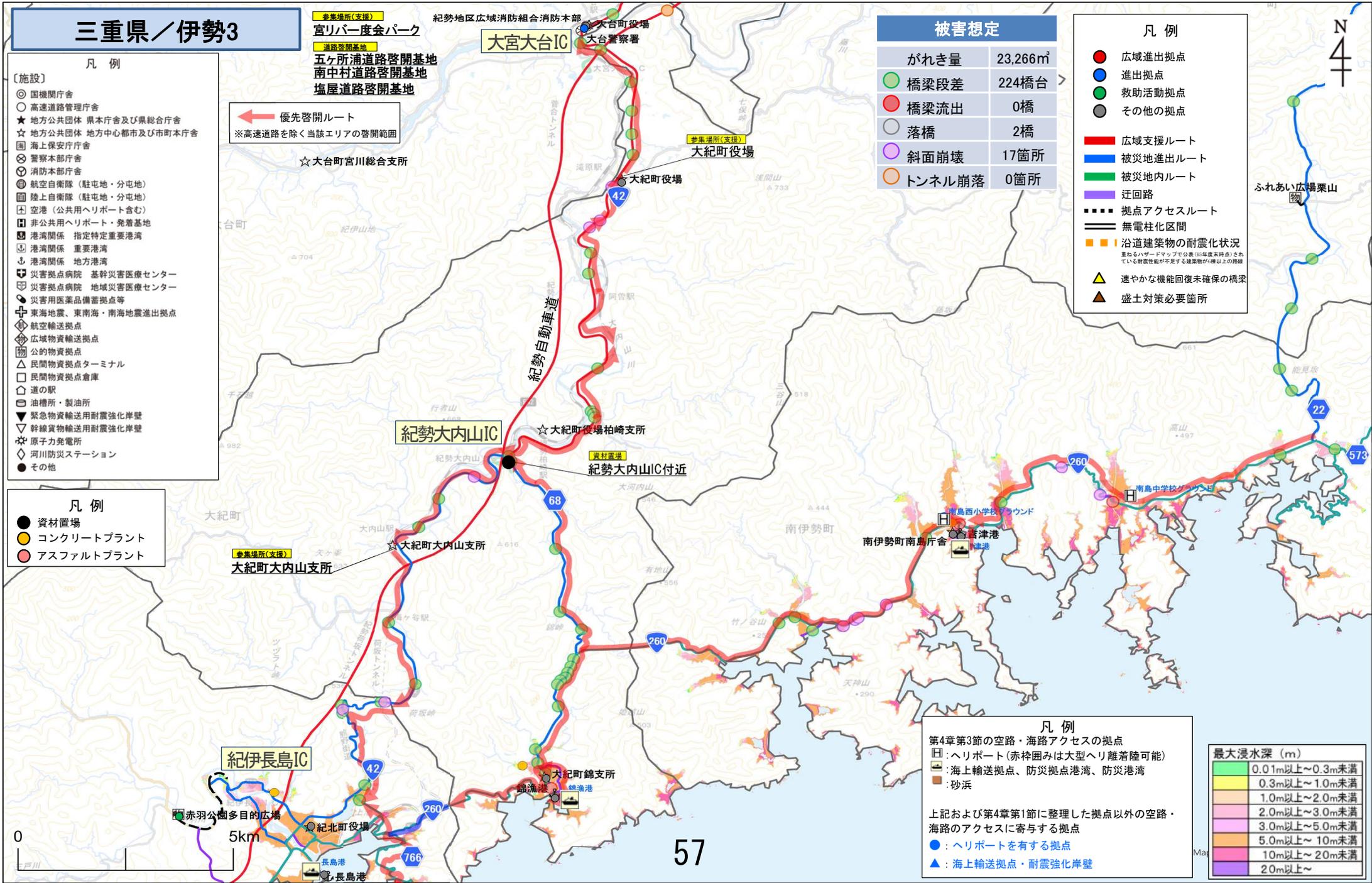
0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

- 拠点事務所・参集場所(支管内)**
- 伊勢建設事務所
- 参集場所(支援)・資材置場**
- 広域防災拠点 (伊勢志摩拠点)
- 参集場所(支援)**
- 大仏山公園
  - 五十鈴公園
- 資材置場**
- 玉城IC付近
  - 伊勢西IC付近

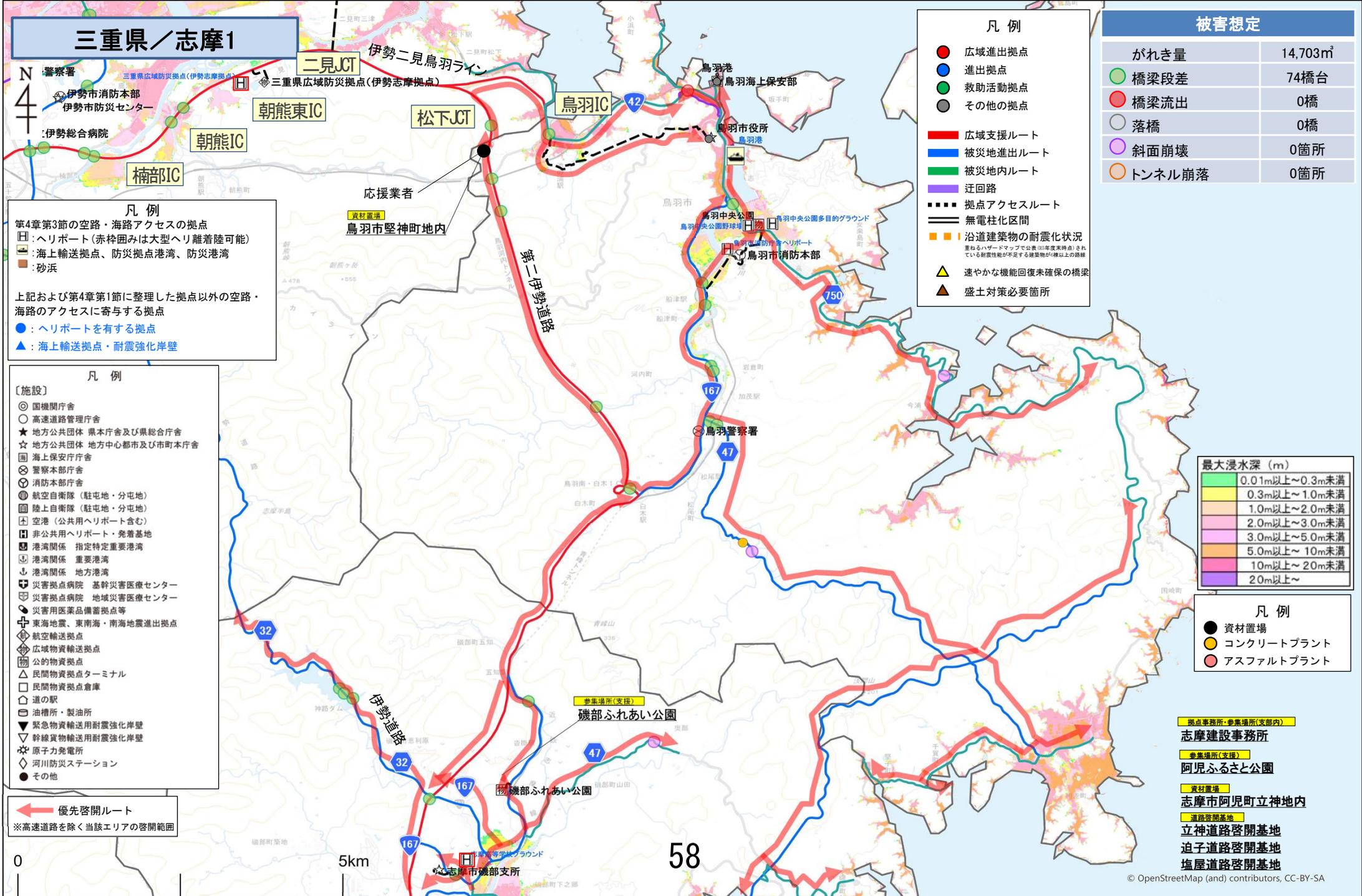
- 参集場所(支援)**
- 大紀町役場
  - 大紀町大内山支所
- 資材置場**
- 紀勢大内山IC付近
  - 崎道路啓開基地
  - 村上道路啓開基地

- 凡例**
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
  - :ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画



# くしの歯ルート・拠点アクセスルート of 具体計画



三重県／志摩1

**凡例**  
 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点  
 [H]:ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)  
 [S]:海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾  
 [B]:砂浜  
 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点  
 ●:ヘリポートを有する拠点  
 ▲:海上輸送拠点・耐震強化岸壁

**【施設】**  
 ◎ 国機関庁舎  
 ○ 高速道路管理庁舎  
 ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎  
 ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎  
 海 海上保安庁庁舎  
 警 警察本部庁舎  
 消 消防本部庁舎  
 航 航空自衛隊(駐屯地・分屯地)  
 陸 陸上自衛隊(駐屯地・分屯地)  
 空 空港(公共用ヘリポート含む)  
 非 非公共用ヘリポート・発着基地  
 港 港湾関係 指定特定重要港湾  
 港 港湾関係 重要港湾  
 港 港湾関係 地方港湾  
 災 災害拠点病院 基幹災害医療センター  
 災 災害拠点病院 地域災害医療センター  
 薬 災害用医薬品備蓄拠点等  
 東 東海地震・東南海・南海地震進出拠点  
 航 航空輸送拠点  
 広 広域物資輸送拠点  
 公 公的物資拠点  
 △ 民間物資拠点ターミナル  
 □ 民間物資拠点倉庫  
 道 道の駅  
 油 油槽所・製油所  
 緊 緊急物資輸送用耐震強化岸壁  
 幹 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁  
 原 原子力発電所  
 河 河川防災ステーション  
 ● その他

← 優先啓開ルート  
 ※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

**凡例**  
 ● 広域進出拠点  
 ● 進出拠点  
 ● 救助活動拠点  
 ● その他の拠点  
 〃 広域支援ルート  
 〃 被災地進出ルート  
 〃 被災地内ルート  
 〃 迂回路  
 〃 拠点アクセスルート  
 〃 無電柱化区間  
 〃 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(50年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物が1棟以上の路線  
 ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁  
 ▲ 盛土対策必要箇所

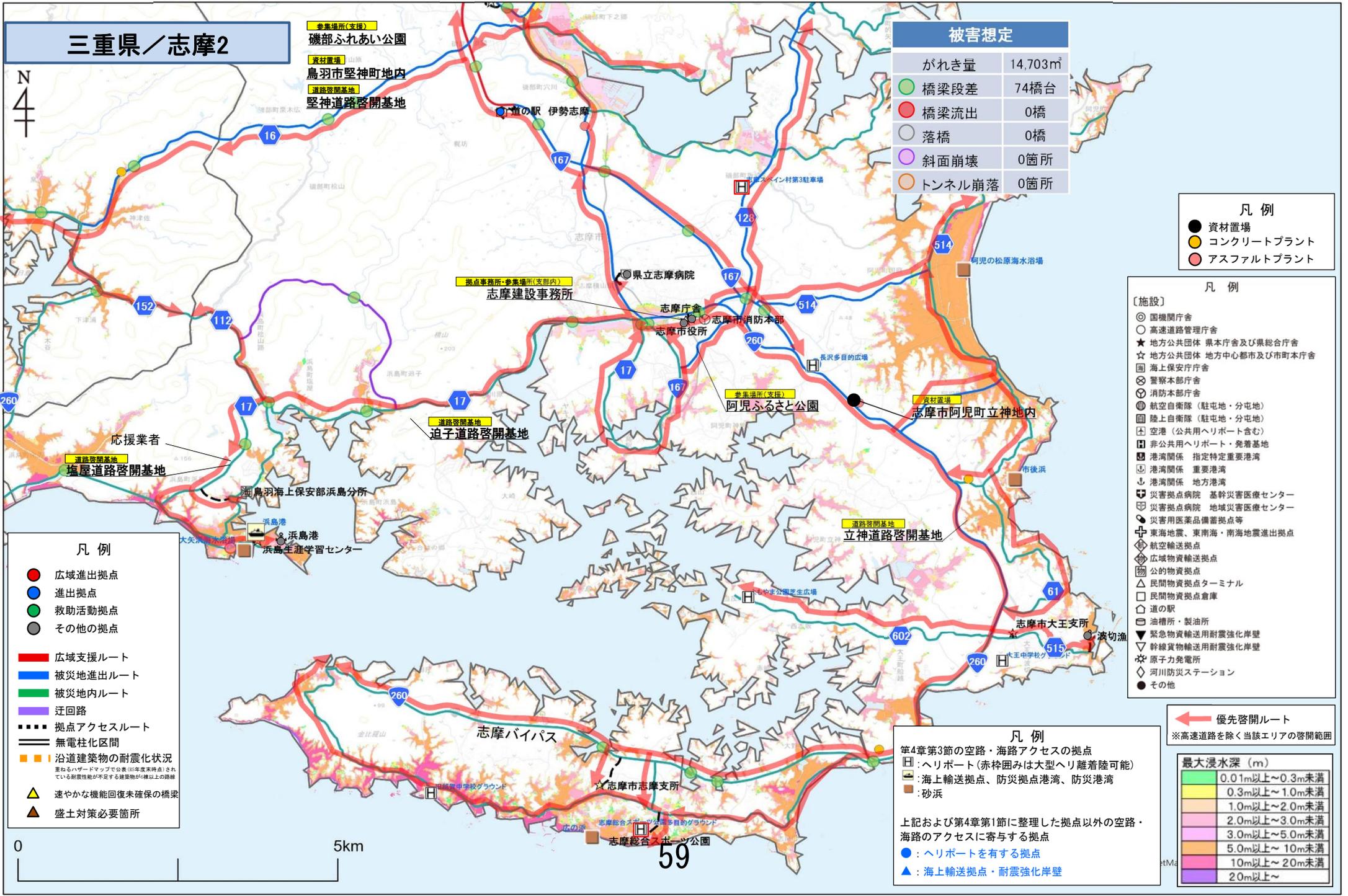
被害想定	
がれき量	14,703m <sup>3</sup>
橋梁段差	74橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	0箇所
トンネル崩落	0箇所

最大浸水深 (m)	
0.01m以上~0.3m未満	0.3m以上~1.0m未満
1.0m以上~2.0m未満	2.0m以上~3.0m未満
3.0m以上~5.0m未満	5.0m以上~10m未満
10m以上~20m未満	20m以上~

**凡例**  
 ● 資材置場  
 ● コンクリートプラント  
 ● アスファルトプラント

● 拠点事務所・集集場所(支内部)  
**志摩建設事務所**  
 ● 集集場所(支援)  
**阿児ふるさと公園**  
 ● 資材置場  
**志摩市阿児町立神地内**  
 ● 道路啓開基地  
**立神道路啓開基地**  
**迫子道路啓開基地**  
**塩屋道路啓開基地**

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画



三重県／志摩2

- 参考場所(支援)
- 磯部ふれあい公園
- 資材置場
- 鳥羽市堅神町地内
- 道路啓開基地
- 堅神道路啓開基地

被害想定	
がれき量	14,703m <sup>3</sup>
● 橋梁段差	74橋台
● 橋梁流出	0橋
○ 落橋	0橋
○ 斜面崩壊	0箇所
○ トンネル崩落	0箇所

- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

- 凡例
- 【施設】
- 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊗ 消防本部庁舎
  - ⊗ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊗ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊗ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 重要港湾
  - ⊗ 港湾関係 地方港湾
  - ⊗ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊗ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊗ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊗ 航空輸送拠点
  - ⊗ 広域物資輸送拠点
  - ⊗ 公的物資拠点
  - △ 民間物資拠点ターミナル
  - 民間物資拠点倉庫
  - 道の駅
  - 油槽所・製油所
  - ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▼ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⚡ 原子力発電所
  - ◆ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表(10年度末時点)されている耐震性が不足する建築物が4棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
  - :ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁

優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

最大浸水深 (m)	
0.01m以上~0.3m未満	0.3m以上~1.0m未満
1.0m以上~2.0m未満	2.0m以上~3.0m未満
3.0m以上~5.0m未満	5.0m以上~10m未満
10m以上~20m未満	20m以上~

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画

## 三重県／尾鷲1

- 凡例
- 〔施設〕
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊（駐屯地・分屯地）
  - ⊖ 陸上自衛隊（駐屯地・分屯地）
  - ⊕ 空港（公共用ヘリポート含む）
  - ⊖ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊖ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊖ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊖ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震、東南海・南海地震震出拠点
  - ⊖ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊖ 公的物資拠点
  - ⊕ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊖ 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊖ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊖ 幹線物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊖ 河川防災ステーション
  - その他

被害想定

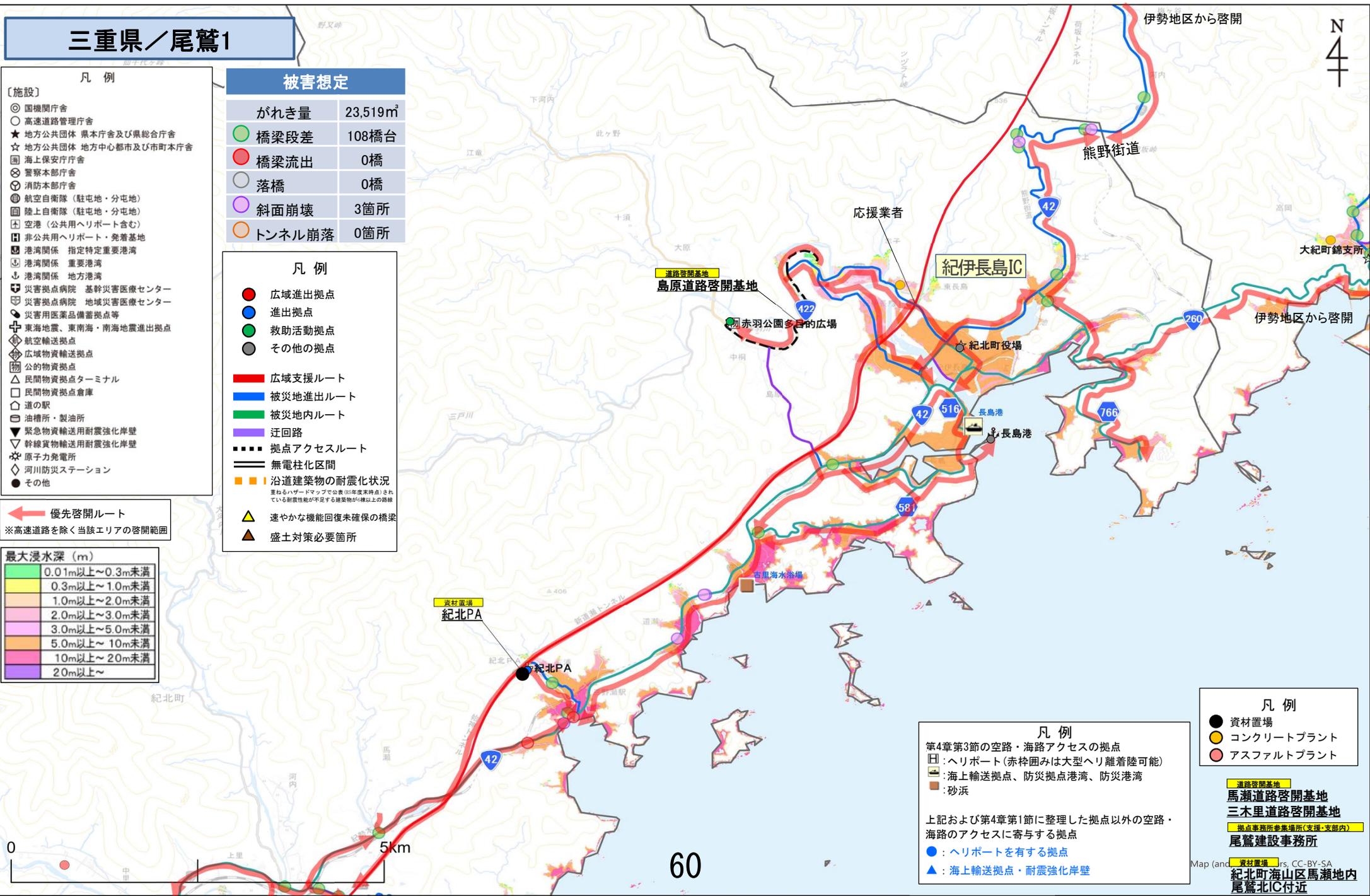
がれき量	23,519m <sup>3</sup>
橋梁段差	108橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	3箇所
トンネル崩落	0箇所

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表（05年度末時点）とされている耐震性能が不足する建築物が4棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

最大浸水深（m）

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～



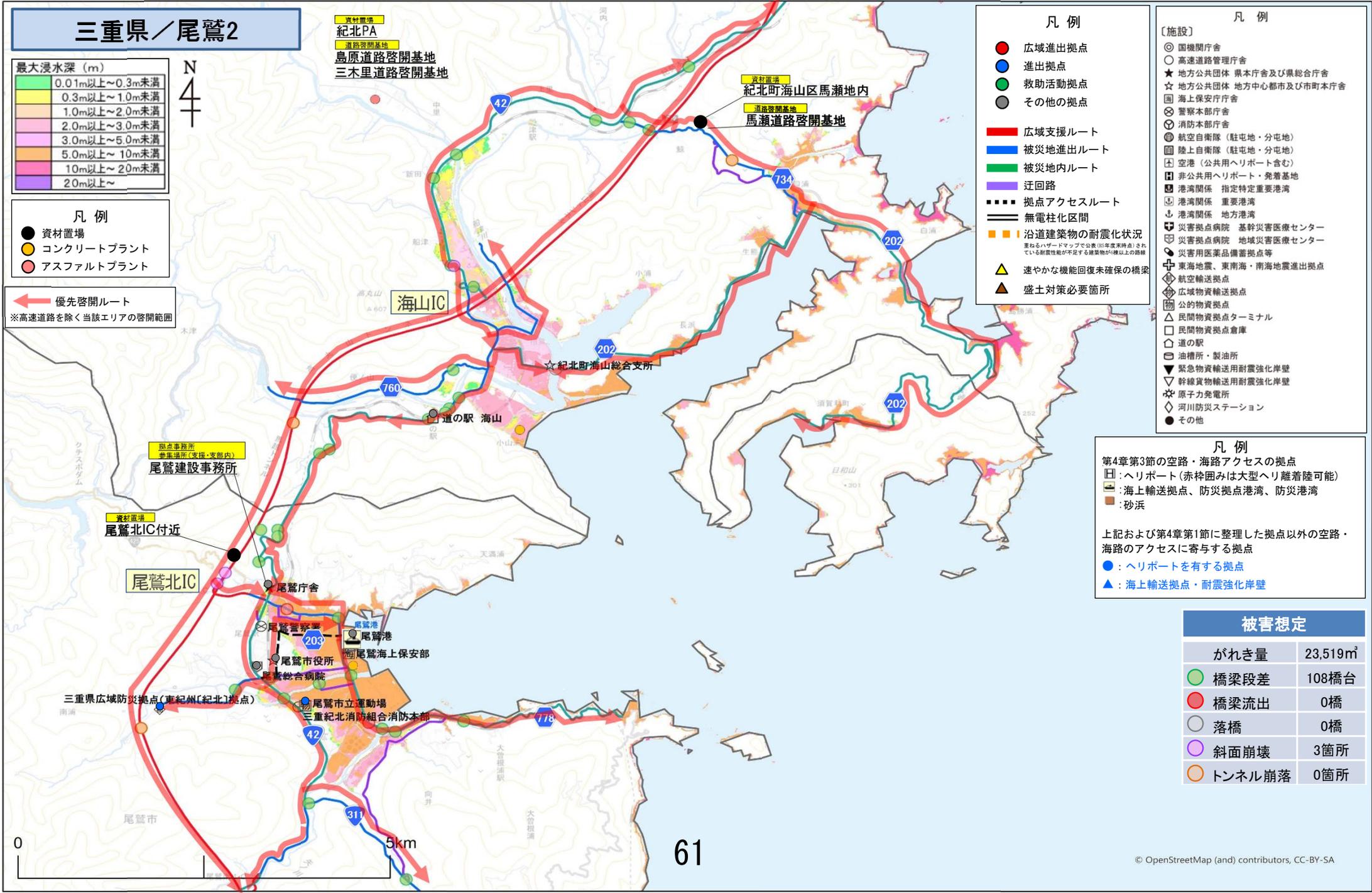
- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊕ :ヘリポート（赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能）
  - ⊖ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁

- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

道路啓開基地  
馬瀬道路啓開基地  
三木里道路啓開基地  
拠点事務所集場所（支援・支節内）  
尾鷲建設事務所

資材置場  
紀北町海山区馬瀬地内  
尾鷲北IC付近

# くしの歯ルート・拠点アクセスルートの具体計画



## 三重県／尾鷲2

最大浸水深 (m)

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

- 資材置場  
紀北PA  
道路啓開基地  
島原道路啓開基地  
三木里道路啓開基地

- 資材置場  
紀北町海山区馬瀬地内  
道路啓開基地  
馬瀬道路啓開基地

- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
置かるハザードマップで公表(10年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物(緑以上の路線)
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

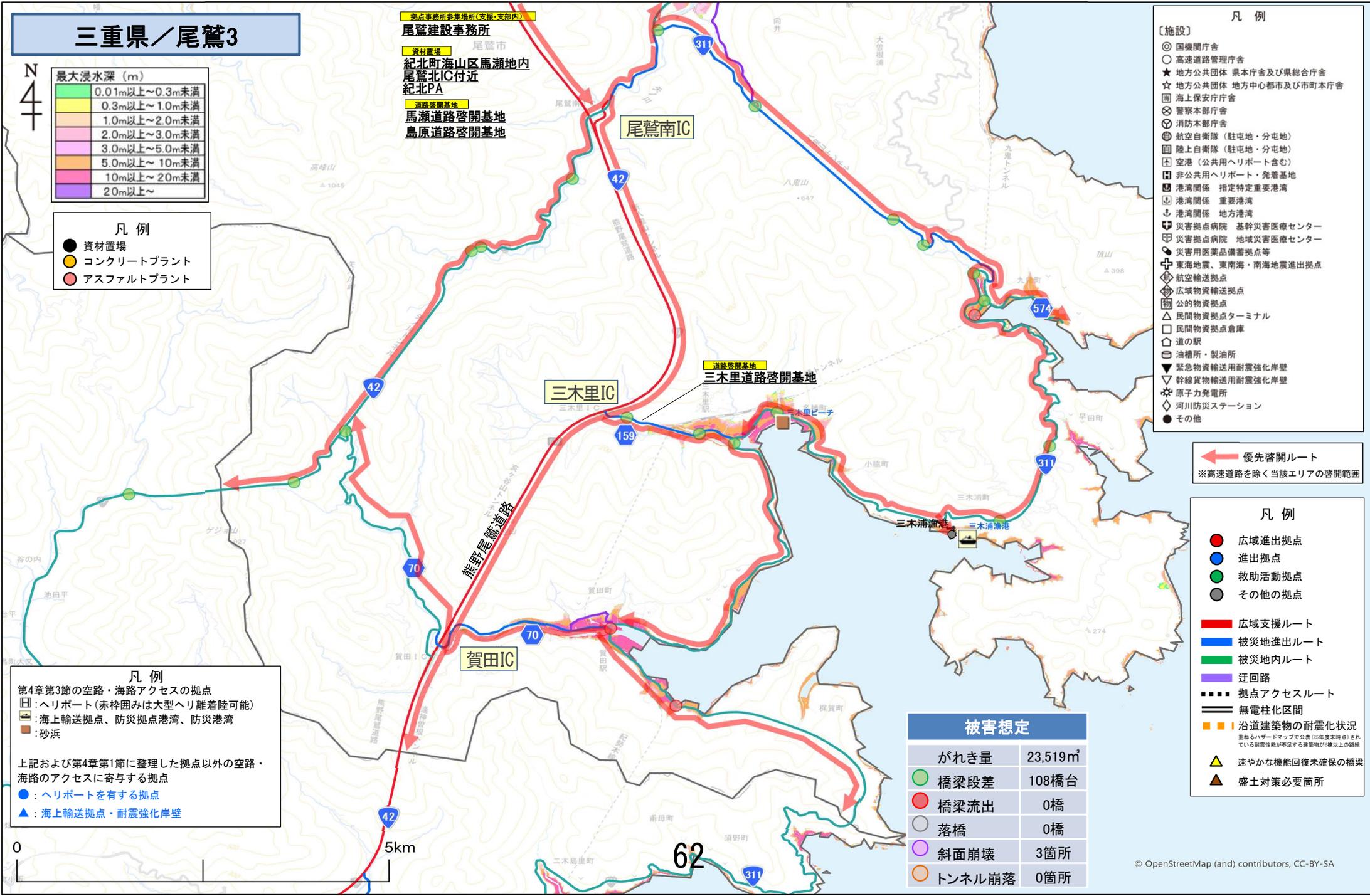
- 凡例
- 〔施設〕
- 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊗ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊(駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊(駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港(公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資輸送拠点
  - ⊕ 民間物資輸送ターミナル
  - ⊕ 民間物資輸送倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ⊕ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊕:ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕:海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲:海上輸送拠点・耐震強化岸壁

被害想定

がれき量	23,519m <sup>3</sup>
● 橋梁段差	108橋台
● 橋梁流出	0橋
○ 落橋	0橋
○ 斜面崩壊	3箇所
○ トンネル崩落	0箇所

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート の具体計画



## 三重県 / 尾鷲3

最大浸水深 (m)

0.01m以上~0.3m未満
0.3m以上~1.0m未満
1.0m以上~2.0m未満
2.0m以上~3.0m未満
3.0m以上~5.0m未満
5.0m以上~10m未満
10m以上~20m未満
20m以上~

- 凡例
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

- 拠点事務所集積場所(支援・支前内)
- 尾鷲建設事務所
- 資材置場
- 紀北町海山区馬瀬地内
- 尾鷲北IC付近
- 紀北PA
- 道路啓開基地
- 馬瀬道路啓開基地
- 島原道路啓開基地

- 凡例
- [施設]
- 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊕ 警察本部庁舎
  - ⊕ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震・東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - △ 民間物資拠点ターミナル
  - 民間物資拠点倉庫
  - ⊕ 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ⊕ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▽ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ◇ 河川防災ステーション
  - その他

優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

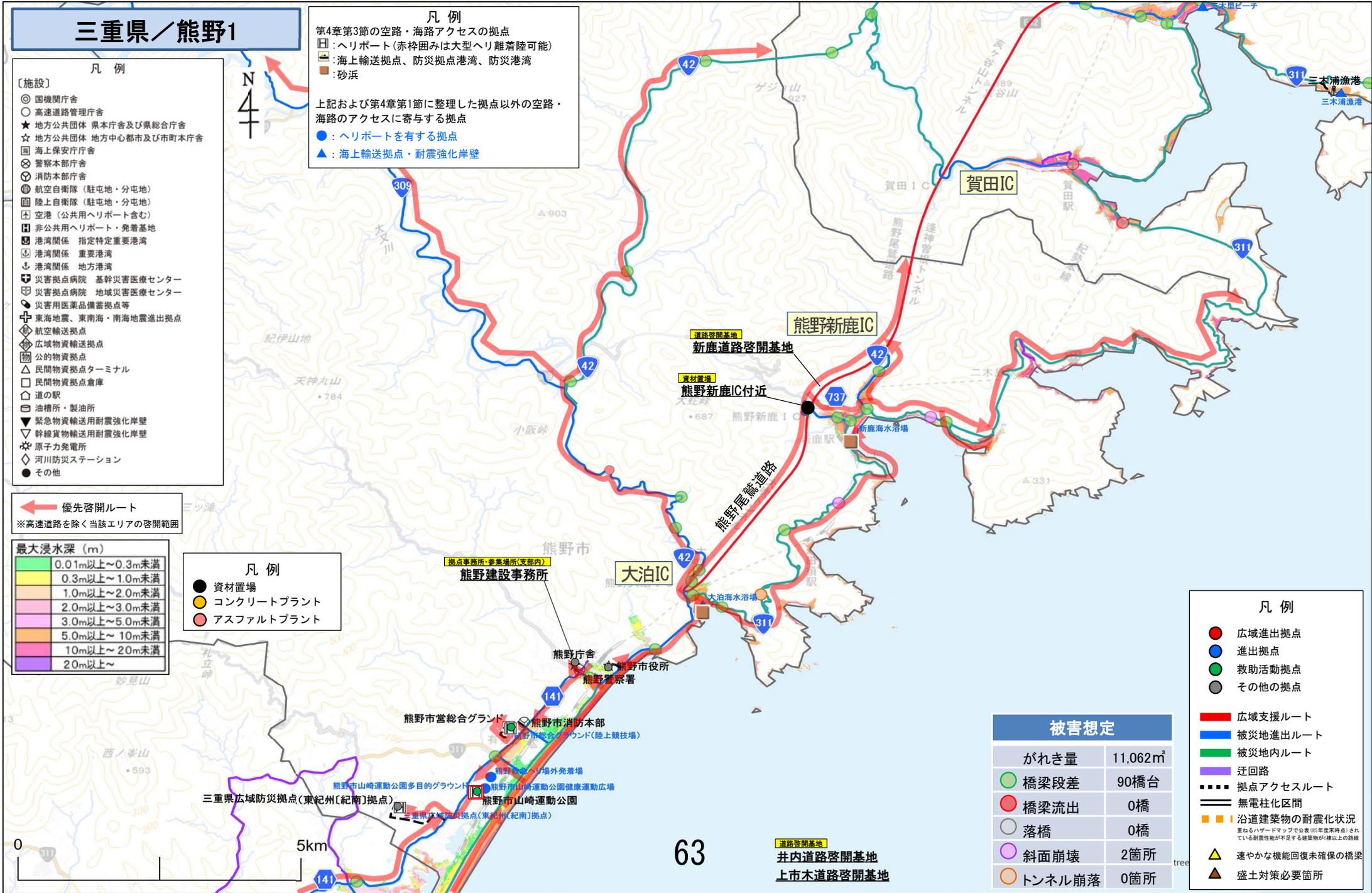
- 凡例
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
異なるハザードマップで公表(05年度末時点)されている耐震性能が不足する建築物が1棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

- 凡例
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊕ :ヘリポート(赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕ :海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲ :海上輸送拠点・耐震強化岸壁

被害想定

がれき量	23,519m <sup>3</sup>
橋梁段差	108橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	3箇所
トンネル崩落	0箇所

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート of 具体計画



## 三重県／熊野1

- 凡例**
- 【施設】
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊕ 海上保安庁庁舎
  - ⊖ 警察本庁舎
  - ⊖ 消防本庁舎
  - ⊖ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊖ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊖ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊖ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊖ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊖ 港湾関係 重要港湾
  - ⊖ 港湾関係 地方港湾
  - ⊖ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊖ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊖ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊖ 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
  - ⊖ 航空輸送拠点
  - ⊖ 広域物資輸送拠点
  - ⊖ 公的物資拠点
  - ⊖ 民間物資拠点ターミナル
  - ⊖ 民間物資拠点倉庫
  - ⊖ 道の駅
  - ⊖ 油槽所・製油所
  - ⊖ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ⊖ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊖ 原子力発電所
  - ◇ 河川防災ステーション
  - その他

- 凡例**
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊖ : ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊖ : 海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - ⊖ : 砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- : ヘリポートを有する拠点
  - ▲ : 海上輸送拠点・耐震強化岸壁

← 優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

**最大浸水深 (m)**

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

- 凡例**
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

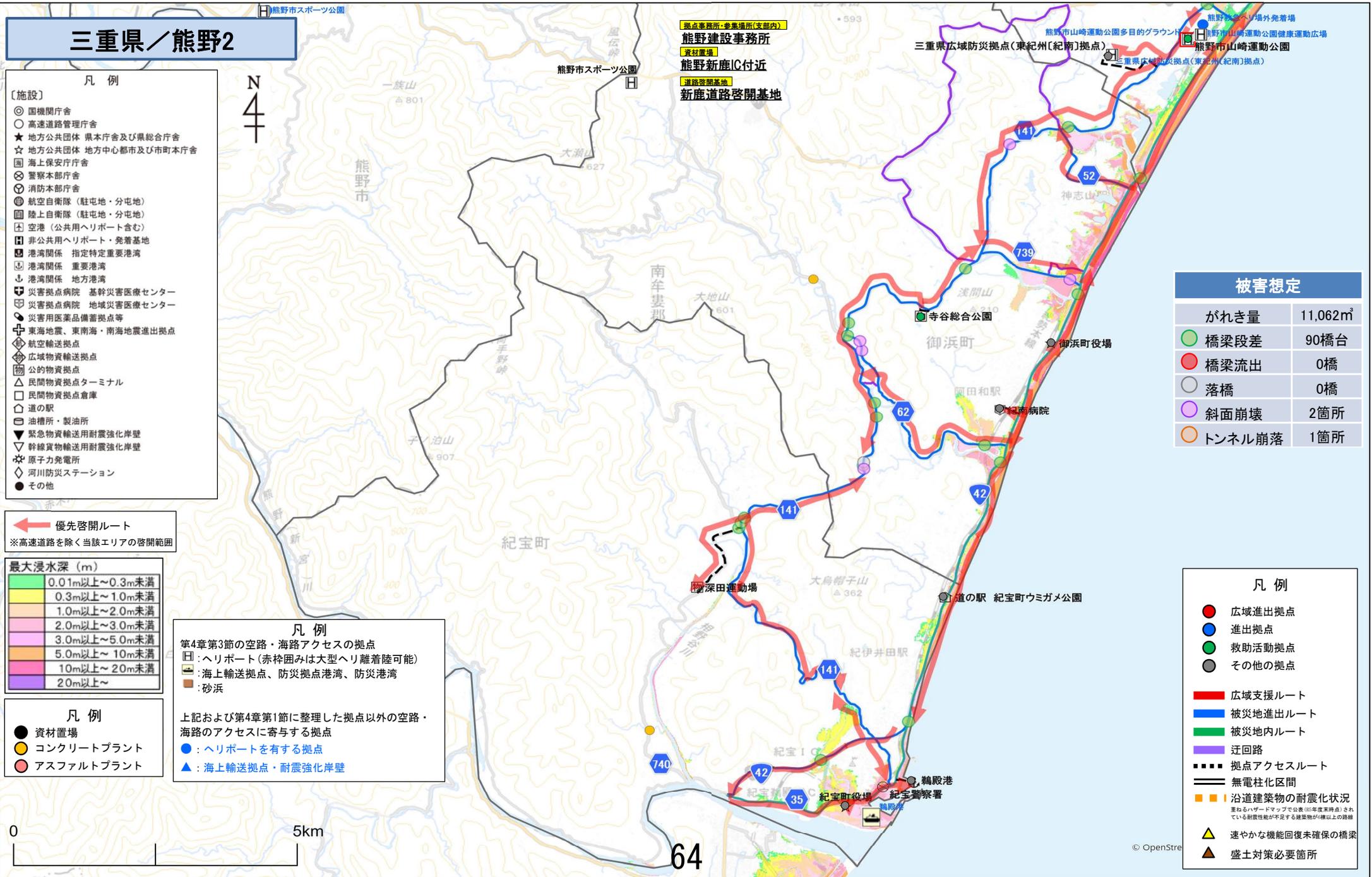
**被害想定**

がれき量	11,062m <sup>3</sup>
橋梁段差	90橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	2箇所
トンネル崩落	0箇所

- 凡例**
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
重ねるハザードマップで公表 (10年度末時点) されている耐震性能が不足する建築物が4棟以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復未確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

井内道路啓開基地  
上市木道路啓開基地

# くしの歯ルート・拠点アクセスルート of 具体計画



## 三重県／熊野2

- 凡例**
- [施設]
- ◎ 国機関庁舎
  - 高速道路管理庁舎
  - ★ 地方公共団体 県本庁舎及び県総合庁舎
  - ☆ 地方公共団体 地方中心城市及び市町本庁舎
  - ⊙ 海上保安庁庁舎
  - ⊗ 警察本部庁舎
  - ⊖ 消防本部庁舎
  - ⊕ 航空自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 陸上自衛隊 (駐屯地・分屯地)
  - ⊕ 空港 (公共用ヘリポート含む)
  - ⊕ 非公共用ヘリポート・発着基地
  - ⊕ 港湾関係 指定特定重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 重要港湾
  - ⊕ 港湾関係 地方港湾
  - ⊕ 災害拠点病院 基幹災害医療センター
  - ⊕ 災害拠点病院 地域災害医療センター
  - ⊕ 災害用医薬品備蓄拠点等
  - ⊕ 東海地震、東南海・南海地震進出拠点
  - ⊕ 航空輸送拠点
  - ⊕ 広域物資輸送拠点
  - ⊕ 公的物資拠点
  - △ 民間物資拠点ターミナル
  - 民間物資拠点倉庫
  - 道の駅
  - ⊕ 油槽所・製油所
  - ▼ 緊急物資輸送用耐震強化岸壁
  - ▽ 幹線貨物輸送用耐震強化岸壁
  - ⊕ 原子力発電所
  - ◇ 河川防災ステーション
  - その他

← 優先啓開ルート  
※高速道路を除く当該エリアの啓開範囲

**最大浸水深 (m)**

0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10m未満
10m以上～20m未満
20m以上～

- 凡例**
- 第4章第3節の空路・海路アクセスの拠点
- ⊕:ヘリポート (赤枠囲みは大型ヘリ離着陸可能)
  - ⊕:海上輸送拠点、防災拠点港湾、防災港湾
  - :砂浜
- 上記および第4章第1節に整理した拠点以外の空路・海路のアクセスに寄与する拠点
- :ヘリポートを有する拠点
  - ▲:海上輸送拠点・耐震強化岸壁

- 凡例**
- 資材置場
  - コンクリートプラント
  - アスファルトプラント

**被害想定**

がれき量	11,062m <sup>3</sup>
橋梁段差	90橋台
橋梁流出	0橋
落橋	0橋
斜面崩壊	2箇所
トンネル崩落	1箇所

- 凡例**
- 広域進出拠点
  - 進出拠点
  - 救助活動拠点
  - その他の拠点
  - 広域支援ルート
  - 被災地進出ルート
  - 被災地内ルート
  - 迂回路
  - 拠点アクセスルート
  - 無電柱化区間
  - 沿道建築物の耐震化状況  
連なるハザードマップで公表(05年度実施済)されている耐震性能が不足する建築物が線以上の路線
  - ▲ 速やかな機能回復確保の橋梁
  - ▲ 盛土対策必要箇所

